駅すぱあと®

イントラネット Ver. 2

ＣＧＩ・ＪＣＧＩ

インターフェースマニュアル

2025 年 4月 1 日 改訂

株式会社ヴァル研究所

目次

CGI・JCGI インターフェースマニュアル

目次 2
CGI インターフェースについて 4
CGI・JCGI 利用時の注意点 6
インターフェース一覧 7
経路探索インターフェースについて 9
機能比較表 9
入力パラメータ比較表 10
出力パラメータ比較表 11
拡張機能比較表 12
パラメータ表の見方 13
入力パラメータについて 14
1-1 基本入力パラメータ（平均） 15
1-2 基本入力パラメータ（ダイヤ） 16
1-3 探索条件（平均） 18
1-4 探索条件（ダイヤ） 21
1-5 共通探索条件 22
1-6 探索結果のカスタマイズ 26
1-7 使用路線の指定 28
1-8 不通路線の指定 29
1-9 その他の入力パラメータ 30
出力パラメータについて 33
2-1 経路出力パラメータ（平均） 34
2-2 経路出力パラメータ（ダイヤ） 36
2-3 路線の出力パラメータ 38
2-4 乗車券の出力パラメータ（平均） 40
2-5 乗車券の出力パラメータ（ダイヤ） 43
2-6 料金の出力パラメータ 46
2-7 定期券の出力パラメータ 52
2-8 再使用する入力パラメータ 54
2-9 乗り継ぎステータス 55
2-10 エラーコード 56
拡張機能について 57
3-1 定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果） 58
3-2 定期券利用時の運賃計算 65
3-3 回数券利用時の運賃計算 70

3-4 分割定期計算 73
3-5 二酸化炭素(CO2)排出量のパラメータ 74
3-6 路線色 75
3-7 ユーザーパラメータ 76
その他のインターフェースについて 77
鉄道会社名・路線名取得 78
1. 会社名一覧を取得する 78
2. 指定した会社の路線名一覧を取得する 79
3. 指定した路線の停車駅一覧を取得する 80
駅名・バス停名・ランドマーク名 81
4. 駅名を取得する 81
5. バス停名を取得する 84
6. ランドマーク名を取得する 85
7. 出発駅・到着駅を取得する 86
8. 緯度経度情報から駅リストを取得する 88
9. 選択した駅名を取得する 89
10. 選択した駅名・ランドマーク名を取得する 90
回数券情報 91
11. 回数券名称リストを取得する 91
12. 回数券の名称から回数券情報を取得する 92
13. 回数券の内容を確認する 93
定期払戻 94
14. 定期払戻情報を取得する 94
15. 会社ごとの手数料を取得する 101
住所関連情報 102
16. レベルごとの住所一覧を取得する 102
17. 郵便番号から住所を取得する 104
その他のインターフェース 107
20.「駅すぱあと」のデータのバージョン情報を取得する 107
21. 同時接続IDを取得する 108
22. カレンダーを表示する(日付を取得する) 109
23.「駅すぱあと」から日付を取得する 110
24. 駅名・路線名・会社名をリニューアルする 111
管理者専用 113
25. ランドマークを登録する 113
26. ランドマークを削除する 116
東日本大震災関連 118
27. 災害・節電の影響に関するダイヤの情報を取得する 118
付録 119
エラーコード一覧 119

CGI インターフェースについて

CGI インターフェースとは

「駅すぱあとイントラネット」(以下、「駅すぱあと」)では、交通費精算業務に利用したいというニーズにお応えするため、「駅すぱあと」の駅名や探索結果を CGI で取得できる機能を用意しております。

CGI とは、Web アプリケーションを構築するときに一般的に利用されるインターフェースです。

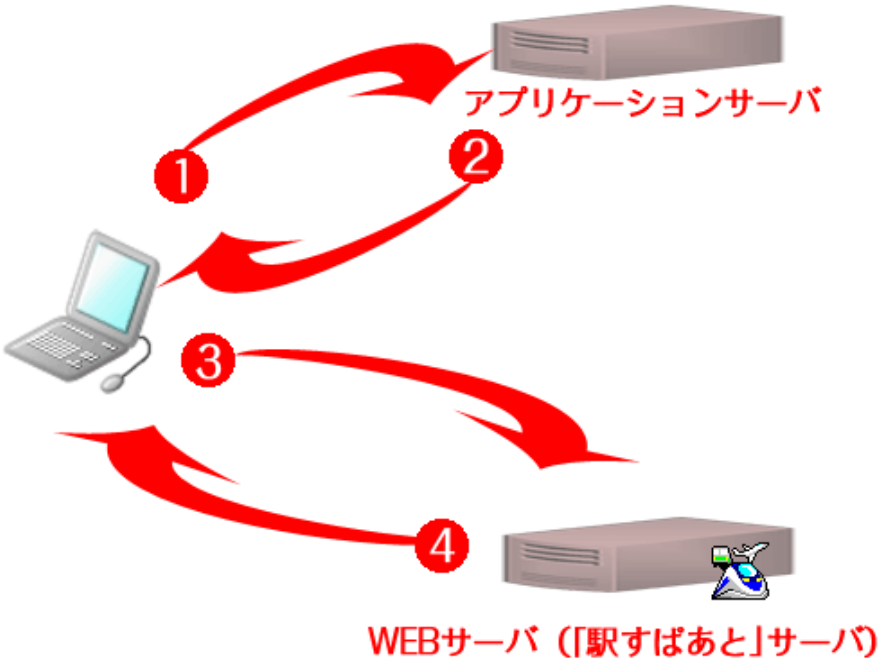
※ CGI インターフェースで使用される探索条件は、すべてパラメータの受け渡しによって設定されます。製品の管理者用サイトで指定した探索条件を引き継ぐには該当する入力パラメータを設定する必要があります

※ CGI インターフェースのパラメータは、Shift_JIS(CP932) を使用しています。

CGI インターフェースの動作イメージ

アプリケーションプログラムから「駅すぱあと」の CGI インターフェースを呼び出す場合は以下のような流れになります。

1. クライアントからアプリケーションサーバへアクセスする
2. アプリケーションサーバからデータを受け取る
3. データを入力してアクションを起こすと、「駅すぱあと」サーバにリクエストされる
4. 「駅すぱあと」サーバが処理を行い、その結果がクライアントに返される



JCGI インターフェースとは

「駅すぱあと」でクライアントのブラウザを経由せずに、アプリケーションサーバと「駅すぱあと」サーバが直接やりとりできるインターフェースです。

通称 JCGI インターフェースと呼ばれており、リモート呼び出し機能をサポートする開発言語であれば利用することができます。

アプリケーションサーバからリクエストを受けた「駅すぱあと」サーバは
「パラメータ名 = 値 & パラメータ名 = 値 &・・・」という形式でデータを返します。

アプリケーションサーバ側で「&」をパラメータの区切りとすることで、個々のパラメータを取り込むことが可能です。

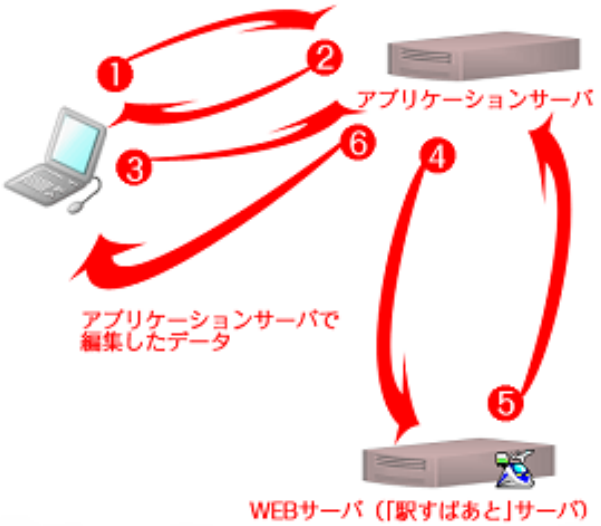
※ JCGI インターフェースで使用される探索条件は、すべてパラメータの受け渡しによって設定されます。製品の管理者用サイトで指定した探索条件を引き継ぐには該当する入力パラメータを設定する必要があります。

※ JCGI インターフェースのパラメータは、Shift_JIS(CP932) を使用しています。

JCGI 系インターフェースの動作イメージ

JCGI 系の場合は以下のような流れになります。

1. クライアントからアプリケーションサーバへアクセスする
2. アプリケーションサーバからデータが送られる
3. クライアントは必要なデータを入力して送信すると、アプリケーションサーバにデータが送られる
4. アプリケーションサーバから「駅すぱあと」サーバにリクエストされる
5. 「駅すぱあと」サーバは処理した結果をアプリケーションサーバに返す
6. アプリケーションサーバは受け取ったデータを編集してクライアントに返す



CGI・JCGI 利用時の注意点

(1) ロングネームとショートネームについて
「駅すぱあと」では、駅名や路線名をロングネームやショートネームと呼ばれる2種類の形式で扱います。

ロングネームの形式では、同じ名称を持つ駅名の場合のみ、「中野（東京都）」のように半角括弧内に都道府県名や会社名を加えてユニークな駅名として扱います。
そのため、駅名が重複することがありません。
経路探索時の駅名入力などには、こちらを指定してください。

ショートネームの形式では、同名の駅が存在する・しないに関わらず、「中野」のように扱います。そのため、駅名が重複することがあります。
主に表示用に利用されます。

	駅名の例
ロングネーム	代々木、中野（東京都）、中野（群馬県）、新宿、新宿（東京メトロ）
ショートネーム	代々木、中野、中野、新宿、新宿

(2) 規定外のパラメータ値の入力について
入力パラメータに規定外の値を入力しますと、「駅すぱあと」が正しく動作しない場合があります。
規定外の値を入力した上でのご利用は、動作保証は致しかねますのでご了承ください。

(3) 新しく追加されるパラメータなどについて
パラメータなどの追加情報は、「駅すぱあと」インストールCD内の CGIインターフェース改訂履歴をご参照ください。

※「駅すぱあと」インストールCD内の以下をご参照ください。
〈CD ドライブ文字〉:¥Ver2¥CGI¥Revision¥Revision.html

(4) 旧版のインターフェースについて
2009年9月版より本マニュアルは大幅にリニューアルしました。
旧版インターフェースは本マニュアルには掲載しておりませんが、旧版インターフェースは今後も使い続けることが可能です。
旧版インターフェースをご覧になりたい方は、旧 CGI・JCGI インターフェースマニュアルをご覧ください。

※「駅すぱあと」インストールCD内の以下をご参照ください。
〈CD ドライブ文字〉:¥Ver2¥CGI¥Old_CGIManual.pdf

インターフェース一覧

経路探索インターフェース

＜詳細型＞

平均探索結果の詳細情報を取得する	cgi_details2、jcgi_details2
ダイヤ探索結果の詳細情報を取得する	cgi_diadetails2、jcgi_diadetails2

＜会話型＞

平均探索結果を表示して選択する	cgi_result2、cgi_result2_h
ダイヤ探索結果を表示して選択する	cgi_diaresult2、cgi_diaresult2_h
再探索可能なダイヤ探索結果を表示し選択する	cgi_diaassign、cgi_diaassign_h

※ 経路探索インターフェースは、機能ごとに説明を記載しております。
経路探索インターフェースの説明については、「 経路探索インターフェースについて 」をご覧ください。

その他のインターフェース

鉄道会社名・路線名取得

会社名一覧を取得する	cgi_corp、jcgi_corp
指定した会社の路線名一覧を取得する	cgi_rail、jcgi_rail
指定した路線の停車駅一覧を取得する	cgi_stop、jcgi_stop

駅名・バス停名・ランドマーク名

＜詳細型＞

駅名を取得する	cgi_station、jcgi_station
バス停名を取得する	cgi_busstop、jcgi_busstop
ランドマーク名を取得する	cgi_landmark、jcgi_landmark
出発駅・到着駅を取得する	cgi_fromto_station、jcgi_fromto_station
緯度経度情報から駅リストを取得する	jcgi_station_from_geopoint

＜会話型＞

選択した駅名を取得する	cgi_select_station
選択した駅名・ランドマーク名を取得する	cgi_select_station_landmark

回数券情報

回数券名称リストを取得する	jcgi_coupondata_name
回数券の名称から回数券情報を取得する	jcgi_coupondata_section
回数券の内容を確認する	jcgi_coupondata_info

定期払戻

定期払戻情報を取得する	cgi_teiki_repay、jcgi_teiki_repay
会社ごとの手数料を取得する	cgi_teiki_repay_corpfee、jcgi_teiki_repay_corpfee

住所関連情報

レベルごとの住所一覧を取得する	cgi_address、jcgi_address
郵便番号から住所を取得する	cgi_addressfromzipcode、jcgi_addressfromzipcode
住所から郵便番号を取得する	cgi_zipcodefromaddress、jcgi_zipcodefromaddress
住所から駅一覧を取得する	cgi_stationfromaddress、jcgi_stationfromaddress

その他

「駅すぱあと」のデータのバージョンを取得する	cgi_version、jcgi_version
同時接続 ID を取得する	cgi_connect_id、jcgi_connect_id
カレンダーを表示する（日付を取得する）	cgi_calendar
「駅すぱあと」から日付を取得する	jcgi_expdate
駅名・路線名・会社名をリニューアルする	cgi_name_renewal、jcgi_name_renewal

管理者専用

ランドマークを登録する	jcgi_adm_import_landmark
ランドマークを削除する	jcgi_adm_delete_landmark

東日本大震災関連

災害・節電の影響に関するダイヤの情報を取得する	jcgi_disasterdia_info

※　その他のインターフェースは、インターフェースごとに説明を記載しております。

経路探索インターフェースについて

機能比較表

	経路探索インターフェース				
	詳細型		会話型		
	平均探索 cgi_details2, jcgi_details2	ダイヤ探索 cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2	平均探索 cgi_result2, cgi_result2_h	ダイヤ探索 cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h	再探索可能な ダイヤ探索 cgi_diaassign, cgi_diaassign_h
全経路の パラメータ出力	○	○	—	—	—
1 経路のみの パラメータ出力	—	—	○	○	○
html での 会話画面の描画	—	—	○	○	○
再探索	—	—	—	—	○

（ ○：利用可、—：利用不可 ）

経路探索インターフェースは大きく分けて「詳細型」と「会話型」の 2 つの型が存在します。

詳細型はパラメータを送信すると、全経路の探索結果のパラメータを出力しますが、会話型はパラメータを送信すると、一度 html での全経路の探索結果を描画し、その中からユーザが選んだ 1 経路のパラメータを出力します。

【詳細型】

1. クライアントからパラメータを送信
2. 全経路のパラメータを出力

【会話型】

1. クライアントからパラメータを送信
2. html 形式で全経路の探索結果を描画
3. html 上で 1 経路を選択
4. 選択された 1 経路のパラメータを出力

html 形式の表示画面はインターフェースを指定することで変更が可能です。

cgi_result2　　：簡易版相当

cgi_result2_h　　：全機能版相当（全機能版対応ブラウザのみ）

全機能版非対応のブラウザにて、「_h」付きのインターフェースを利用した場合には、自動的に「駅すぱあと」簡易版相当の表示画面に変更されます。

さらに、【会話型】の「再探索可能なダイヤ探索」では、html 形式の表示画面にて、「次のダイヤ」や「列車を指定して探索」などの再探索を行うことができます。

次ページ以降の、各インターフェースの入出力パラメータ表も参考にして利用するインターフェースをご選択ください。

入力パラメータ比較表

	経路探索インターフェース				
	詳細型		会話型		
	平均探索 cgi_details2, jcgi_details2	ダイヤ探索 cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2	平均探索 cgi_result2, cgi_result2_h	ダイヤ探索 cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h	再探索可能な ダイヤ探索 cgi_diaassign, cgi_diaassign_h
基本入力パラメータ					
1-1 基本入力パラメータ（平均）	○	—	○	—	—
1-2 基本入力パラメータ（ダイヤ）	—	○	—	○	○
探索条件入力パラメータ					
1-3 探索条件（平均）	○	—	○	—	—
1-4 探索条件（ダイヤ）	—	○	—	○	○
1-5 共通探索条件	○	○	○	○	○
1-6 探索結果のカスタマイズ	○	○	—	—	—
1-7 使用路線の指定	○	—	○	—	—
1-8 不通路線の指定	○	—	○	—	—
拡張入力パラメータ					
拡張入力パラメータ	「拡張機能比較表」参照				
その他の入力パラメータ					
1-9 その他の入力パラメータ	「1-9 その他の入力パラメータ」参照				

（青文字をクリックすることでリンク先へ移動します。）　（○：利用可、—：利用不可）

○基本入力パラメータ（必須）
各インターフェースを動作させるのに最低限必要な入力パラメータのグループです。

○探索条件入力パラメータ（任意）
探索条件を設定したい場合に利用する入力パラメータのグループです。
基本パラメータと併せてご利用ください。

○拡張入力パラメータ（任意）
拡張機能を利用したい場合に利用する入力パラメータのグループです。
詳細は「拡張機能比較表」をご参照ください。

○その他の入力パラメータ（任意）
上記のグループに当てはまらない入力パラメータのグループです。

出力パラメータ比較表

	経路探索インターフェース				
	詳細型		会話型		
	平均探索 cgi_details2, jcgi_details2	ダイヤ探索 cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2	平均探索 cgi_result2, cgi_result2_h	ダイヤ探索 cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h	再探索可能な ダイヤ探索 cgi_diaassign, cgi_diaassign_h
基本入力パラメータ					
2-1 経路出力パラメータ（平均）	○	—	○	—	—
2-2 経路出力パラメータ（ダイヤ）	—	○	—	○	○
2-3 路線出力パラメータ	○	○	○	○	○
2-4 乗車券出力パラメータ（平均）	○	—	○	—	—
2-5 乗車券出力パラメータ（ダイヤ）	—	○	—	○	○
2-6 料金出力パラメータ	○	○	○	○	○
2-7 定期券出力パラメータ	○	○	○	○	○
2-8 再使用する入力パラメータ	○	○	○	○	○
2-9 乗り継ぎステータス	○	—	○	—	—
2-10 エラーコード	○	○	○	○	○
拡張出力パラメータ					
拡張出力パラメータ	「拡張機能比較表」参照				

（青文字をクリックすることでリンク先へ移動します。）　（○：利用可、—：利用不可）

○基本出力パラメータ
正しく探索ができた場合に出力されるパラメータです。
正しく探索ができなかった場合には、エラーコードのみ出力されます。

○拡張出力パラメータ
拡張入力パラメータを利用すると出力されるパラメータです。
詳細は「拡張機能比較表」（次のページ）をご参照ください。

拡張機能比較表

	経路探索インターフェース				
	詳細型		会話型		
	平均探索 cgi_details2, jcgi_details2	ダイヤ探索 cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2	平均探索 cgi_result2, cgi_result2_h	ダイヤ探索 cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h	再探索可能な ダイヤ探索 cgi_diaassign, cgi_diaassign_h
拡張機能					
3-1 定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）	○	○	○	○	○
3-2 定期券利用時の運賃計算	○	○	○	○	○
3-3 回数券利用時の運賃計算	○	○	○	○	○
3-4 分割定期計算	○	—	○	—	—
3-5 CO2 排出量	○	○	○	○	○
3-6 路線色	○	○	—	—	—
3-7 ユーザーパラメータ	○	○	○	○	○

（青文字をクリックすることでリンク先へ移動します。）　（○：利用可、—：利用不可）

「 拡張機能 」は、拡張機能を利用する際に設定するパラメータのグループです。
「 拡張入力パラメータ 」を設定すると、「 拡張出力パラメータ 」を出力します。

・定期券を利用した運賃計算
・CO2 の排出量計算

などの、拡張機能を利用する際に設定します。
これらのパラメータは、設定しない限り無効となりますのでご注意ください。

リンク先に「 拡張入力パラメータ 」と「 拡張出力パラメータ 」を掲載しておりますので、
各機能の詳細はそちらをご覧ください。

パラメータ表の見方

入力パラメータと、出力パラメータの内容を表で示しています。

○入力パラメータの「必須」について

- 必須の列に「☆」が付いているものは、必須パラメータです。
  各 CGI、JCGI を利用する際には必ず使用してください。
- 必須の列に「★」が付いているものは、どちらか必須のパラメータです。
  各 CGI、JCGI を利用する際にはどちらかのパラメータを必ず使用してください。
- モジュールを動作させるために一般的に必要なパラメータの行は濃い黄色になっています。

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_xxxx、jcgi_xxxx
☆	val_xxx_xxx	
★	val_xxx	
★	val_xxxx	
	val_xxxx_xxx	
	val_xxxxx_xxx	
	ユーザーパラメータ	

入力パラメータについて

「駅すぱあと」の実行プログラム expcgi.exe（または exp.cgi）のアドレスの後に、「?」を付けた後に入力パラメータを記述していきます。

入力パラメータ名とパラメータの値の間には「=」、
入力パラメータが複数ある場合には「&」を利用します。

※ 文字コードには、Shift_JIS(CP932) を使用してください。

（入力例）

例１：cgi_corp（パラメータに２バイトコードが含まれない場合）
http://hostName/aliasName/expcgi.exe?val_htmb=cgi_corp&val_area=1
&val_cgi_url=http://hostName/aliasName/cgi/application.cgi&a=1&b=ABCDE

例２：jcgi_corp（パラメータに２バイトコードが含まれない場合）
http://hostName/aliasName/expcgi.exe?val_htmb=jcgi_corp&val_area=1

※ 2 バイトコードが含まれない場合は、そのまま送信する事ができます。

例３：cgi_station（パラメータに２バイトコードが含まれる場合）
http://hostName/aliasName/expcgi.exe?val_htmb=cgi_station&val_in_name=%93%8c%8b%9e&val_cgi_url=http://hostName/aliasName/cgi/application.cgi&a=1&b=ABCDE
（「val_in_name」には「東京」をエンコードした結果を入力 ）

例４：jcgi_station（パラメータに２バイトコードが含まれる場合）
http://hostName/aliasName/expcgi.exe?val_htmb=jcgi_station
&val_in_name=%91%e5%8d%e3
（「val_in_name」には「大阪」をエンコードした結果を入力 ）

※ 2 バイトコードが含まれる場合は、エンコード処理を記述してください。

1-1 基本入力パラメータ（平均）

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	各 CGI・JCGI インターフェース名（例：cgi_details2）
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(CGI のみ可)(最大文字列 512byte)
☆	val_from	出発駅の駅名
★	val_to	目的駅の駅名（経由駅を指定しない場合）
★	val_to01	経由駅・目的駅の駅名 （経由駅を指定する場合は「val_to」は使用せず、 経由する順に駅名を「val_to01」～「val_to09」に入力） ※「val_to」にも駅名を指定した場合、「val_to01」～「val_to09」は考慮されず、「val_to」のみが適用されます 「val_to05」～「val_to09」に入力する場合は、「val_addto」を「追加する(1)」に設定してください
	val_to02	
	val_to03	
	val_to04	
	val_to05	
	val_to06	
	val_to07	
	val_to08	
	val_to09	
	val_addto	経由駅の追加フラグ (0：追加しない、1：追加する、省略時は 0)

1-2 基本入力パラメータ（ダイヤ）

利用可能インターフェース	cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	各 CGI・JCGI インターフェース名（例：cgi_details2）
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(CGI のみ可)(最大文字列 512byte)
☆	val_from	出発駅の駅名
★	val_to	目的駅の駅名（経由駅を指定しない場合）
★	val_to01	経由駅・目的駅の駅名 （経由駅を指定する場合は「val_to」は使用せず、 経由する順に駅名を「val_to01」～「val_to09」に入力） ※「val_to」にも駅名を指定した場合、「val_to01」～「val_to09」は考慮されず、「val_to」のみが適用されます 「val_to05」～「val_to09」に入力する場合は、「val_addto」を「追加する(1)」に設定してください
	val_to02	
	val_to03	
	val_to04	
	val_to05	
	val_to06	
	val_to07	
	val_to08	
	val_to09	
	val_addto	経由駅の追加フラグ (0：追加しない、1：追加する、省略時は 0)
☆	val_hour	出発・到着時間の時
☆	val_minute	出発・到着時間の分
☆	val_searchtype	出発・到着の指定（0：出発 1：到着）

基本入力パラメータについて

経路探索インターフェースは、基本入力パラメータを利用するだけで動作します。

例：jcgi_details2 の場合
http://hostName/aliasName/expcgi.exe?val_htmb=jcgi_details2
&val_from=%93%8c%8b%9e&val_to=%91%e5%8d%e3

（「val_from」には「東京」を、「val_to」には「大阪」をエンコードした結果を入力）

（Linux 版の場合は、expcgi.exe ではなく、exp.cgi になります。）

条件の指定や機能を利用したい場合には、入力パラメータを追加してご利用ください。

＜ランドマークを利用する場合＞

ランドマークでの探索を行う場合は、ランドマーク名の後に”／ランドマーク”を入力します。
ただし、ランドマークを出発地と最終目的地以外に指定して探索を行う事はできません。

1-3 探索条件（平均）

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_year	出発日の年（yyyy）（省略時は本日日付）
val_month	出発日の月（mm）（省略時は本日日付）
val_day	出発日の日（dd）（省略時は本日日付）
val_feeling	探索条件（省略時は 2221122）※1,2
val_expressonly	探索条件：有料特急 （0：利用しない、1：利用する、省略時は 1）※2
val_shinkansen	探索条件：新幹線 （0：利用しない、1：利用する、省略時は 1）※2,3
val_nozomi	探索条件：のぞみ （0：利用しない、1：利用する、省略時は 1）※2,3
val_sleepingcar	探索条件：寝台列車 （y：優先して利用、n：利用しない、省略時は n）
val_highwaybus	探索条件：高速バス （1：優先して利用、2：普通に利用、3：極力利用しない、省略時は 2）
val_airbus	探索条件：連絡バス （1：優先して利用、2：普通に利用、3：極力利用しない、省略時は 2）
val_ship	探索条件：船 （1：気軽に利用、2：普通に利用、3：極力利用しない、省略時は 2）
val_bus_route_only	バスのみ探索 （y：利用する、n：利用しない、省略時は n）※4

※1 「val_feeling」探索条件について

探索条件の指定を行うができます。デフォルト値は「2221122」です。

桁ごとに設定条件が対応していますので、探索条件を変更する場合はこの数値を修正してください。桁ごとの設定条件および、詳細情報は下記を参照してください。

また、「特急列車」については※2 もご参照ください。

2	2	2	1	1	2	2
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
空路	特急列車	JR路線	駅間徒歩	乗り換え	出発駅乗車	特急始発駅

空路	
1	気軽に利用
2	普通に利用（デフォルト値）
3	極力利用しない

特急列車	
1	気軽に利用
2	普通に利用（デフォルト値）
3	極力利用しない

JR 路線	
1	やや優先する
2	普通に利用（デフォルト値）
3	極力利用しない

駅間徒歩	
1	気にならない（デフォルト値）
2	少し気になる
3	利用しない

乗り換え	
1	気にならない（デフォルト値）
2	少し気になる
3	大いに気になる

出発駅乗車	
1	待ち時間なし
2	平均待ち時間（デフォルト値）

特急始発駅	
1	なるべく利用
2	普通に利用（デフォルト値）

※2　「特急列車」と「有料特急」「新幹線」「のぞみ」について

探索条件「特急列車」（「val_feeling」の前から 2 桁目）は、探索条件「有料特急」「新幹線」「のぞみ」（それぞれ「val_expressonly」「val_shinkansen」「val_nozomi」）と重複する、排他関係のある探索条件となります。

「特急列車」の設定は、「有料特急」「新幹線」「のぞみ」が無指定の場合にのみ「気軽に利用」(1) もしくは「極力利用しない」(3) の設定が反映されます。

「有料特急」「新幹線」「のぞみ」のいずれかを指定し、値（省略時設定と同じ場合を含む）を設定した場合、「特急列車」の設定はデフォルト値として探索が行われます。

「特急列車」	「有料特急」「新幹線」「のぞみ」のいずれか	適用される「特急列車」の値
（無指定）	（無指定）	2
1	（無指定）	1
2	（無指定）	2
3	（無指定）	3
（無指定）	0 または 1	2
1	0 または 1	2
2	0 または 1	2
3	0 または 1	2

※3　新幹線に関する探索条件について

「val_shinkansen」に 0 を設定した場合、「val_nozomi」の設定は反映されません。
また、「val_nozomi」は、「ＪＲ新幹線のぞみ」「ＪＲ新幹線みずほ」（新大阪－博多間）、「ＪＲ新幹線はやぶさ」「ＪＲ新幹線こまち」（東京 － 盛岡間）の利用に対して設定を行います。

※4　val_bus_route_only について

出発地～目的地に同じバス会社のバス停のみを指定した場合に適用されます。
利用するとした場合、同じバス会社のみを利用した探索結果となります。
利用しないとした場合や省略時には、バス以外を利用した経路を含む探索結果も表示されます。

1-4 探索条件（ダイヤ）

利用可能インターフェース	cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_year	出発日の年（yyyy）（省略時は本日日付）
val_month	出発日の月（mm）（省略時は本日日付）
val_day	出発日の日（dd）（省略時は本日日付）
val_change_cost	乗り換え時間 （0：既定値、1：既定値より少し余裕をみる、 2：既定値より余裕をみる、3：既定値より短い時間、 省略時は 0）
val_dia_traffic_air	飛行機 （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）
val_dia_traffic_sinkansen	新幹線 （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）※1
val_dia_traffic_sinkansen_nozomi	のぞみ （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）※1
val_dia_traffic_sleeping_car	寝台列車 （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）
val_dia_traffic_express	有料特急 （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）
val_dia_traffic_highwaybus	高速バス （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）
val_dia_traffic_airbus	連絡バス （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）
val_dia_traffic_specialtrain	有料普通列車 （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）
val_dia_traffic_ship	船 （y：利用する、n：利用しない、省略時は y）
val_dia_traffic_midnightbus	深夜急行バス （0：利用しない、1：利用する、省略時は 0）
val_dia_traffic_airfare_class	航空運賃の特定便割引 （旧仕様との互換のためのパラメータです。 値を指定しても無効となります）

※1　新幹線に関する探索条件について

「val_dia_traffic_sinkansen」にｎを設定した場合、「val_dia_traffic_sinkansen_nozomi」の設定は反映されません。また、「val_dia_traffic_sinkansen_nozomi」は、「ＪＲ新幹線のぞみ」および「ＪＲ新幹線みずほ」（新大阪－博多間）、「ＪＲ新幹線はやぶさ」「ＪＲ新幹線こまち」（東京－盛岡間）の利用に対して設定を行います。

1-5 共通探索条件

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_oneway	1：片道運賃、0：往復運賃、2：定期代、省略時は 1
val_icticket	IC カード運賃の計算 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0) ※1
val_icticket_type	IC カード運賃の種類 （0：最も安い IC カードの運賃、1：全国共通系 IC カードの運賃、省略時は 0）※2
val_preferred_ticket_order	優先表示運賃 (0：優先指定なし、1：現金運賃（ 普通乗車券 ）、 2：IC カード運賃、3：安い方の運賃、省略時は 0) ※3
val_dcstudent	学割運賃の計算 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0)
val_teikifare_mode	定期種類 (1：通勤定期、2：高校生用通学定期、3：大学生用通学定期、 省略時は 1)
val_jr2sectteiki	ＪＲ二区間定期 (0：適時計算する、1：常に計算する、省略時は 0) ※4
val_doubleroute	2 ルート定期 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0) ※4
val_confload	環境設定ファイルから値の取得モード (省略時は全桁 0) ※5
val_sorttype	探索結果の経路の並び順指定 (1：探索順、2：運賃順、3： 所要時間順、4：定期順、 5：乗換回数順、6：CO2 排出量順 7：定期 1 ヵ月順、 8：定期 3 ヵ月順、9：定期 6 ヵ月順、省略時は 1)
val_surcharge_type	特急料金のタイプを指定 (1：指定席、2：自由席、3：グリーン席、省略時は 1)
val_jrconsideration	繁忙期・閑散期を考慮した探索 (y：考慮する、n：考慮しない、省略時は y) ※一部私鉄はこの設定に関わらず、常に繁忙期・閑散期を考慮した探索を行います。
val_airfare_mode	航空保険特別料金 (0：運賃に含まない、1：運賃に含む、省略時は 0) ※ 2018 年 1 月版で航空保険特別料金の設定が無効になり、0 でも運賃に含まれて出力します

名称	説明
val_airport_charge	空港使用料の出力 (0：出力しない、1：出力する、省略時は 0)
val_max_result	探索結果の回答数の最大値 (1 ～ 20、省略時は 5)
val_jr_yoyaku	EX 予約/スマート EX を考慮して計算する (0：未設定、1：ＥＸ予約、2：ＥＸ予約(e 特急券)、 3：ＥＸ予約(ＥＸ早特)、4：ＥＸ予約(ＥＸ早特２１)、 5：ＥＸ予約(ＥＸグリーン早特)、 6：スマートＥＸ、 7：スマートＥＸ(ＥＸ早特)、8：スマートＥＸ(ＥＸ早特２１)、 9：スマートＥＸ(ＥＸグリーン早特)、10：ＥＸ予約(ＥＸ早特２８)、 11：スマートＥＸ(ＥＸ早特２８)、12：ＥＸ予約(ＥＸ早特１)、 13：スマートＥＸ(ＥＸ早特１)、省略時は 0) ※6
val_sinkansen_e_ticket	新幹線 e チケットを考慮して計算する (0：未設定、1：新幹線 e チケット、省略時は 0) ※7
val_output_teiki12	1：１２ヵ月定期金額を出力する 省略時は 0（出力しない）
val_track_type	1: 軌道種別を出力する 省略時は 0（出力しない）
val_supported_status	金額ステータスを出力する (0：出力しない、1：出力する、省略時は 0)
val_offpeak_teiki	1：オフピーク定期で計算する省略時は 0（計算しない）

※1 「val_icticket」について

IC カード運賃を考慮した計算を行う際に利用します。

なお、便宜上「 駅すぱあと 」では普通乗車券や IC カード乗車券などの名称を「 乗車券システムタイプ 」と呼称します。

IC カード乗車券が利用できない経路には、
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo]_cnt = 0 が返却され、
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo]_name_[ticketsysNo] と
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo]_fare_[ticketsysNo] は出力されません。

IC カード乗車券が利用できる経路には、それぞれのパラメータに乗車券システムタイプ数、「 普通乗車券 」や「IC カード乗車券 」などの名称、運賃が返却されます。

なお、IC カード乗車券の計算を有効にした場合には、以下の機能が利用不可になります。

- 学割運賃の計算
- 「3-2 定期券利用区間の運賃計算」
- 「3-4 分割定期計算」

＜ IC カード乗車券の計算結果について＞

Caution.pdf をご覧ください。

※2 「val_icticket_type」について

「全国共通系 IC カード」とは、JR 東日本の Suica などの非接触型 IC カードを指します。

※3 「val_preferred_ticket_order」について

「val_icticket」に 0 を設定した場合「val_preferred_ticket_order」の設定は反映されません。優先指定なしの場合、基本的に普通運賃が返りますが、IC カード運賃と片道運賃が異なる場合は IC カード運賃が選択されます。
「駅すぱあと」の探索条件と合わせたい場合はこのパラメータで設定する必要があります。

※4 「val_jr2sectteiki」「val_doubleroute」について

「val_jr2sectteiki」や「val_doubleroute」に 1 を設定した場合、探索結果画面または「1-6探索結果のカスタマイズ」機能で、表示または計算する定期券の種類を切り替えることができます。

上記の設定を行うことで計算される定期券の利用を考慮した運賃計算をする場合、「3-1 定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）」をご利用の上、入力パラメータとして「val_tassign_jr2sectteiki」や「val_tassign_doubleroute」に同等の値を指定してください。

＜ＪＲ二区間定期、2 ルート定期について＞

各探索条件で計算される定期券については、インストール CD 内の「規格と制限事項」(Caution.pdf) に記載されています。「ＪＲ二区間定期」に関しては「ＪＲ二区間定期について」を、「2 ルート定期」に関しては「2 ルート定期」をご覧ください。

※5 「val_confload」について

このパラメータを利用すると、管理者用サイトの一部の環境設定を引き継ぐことができます。

利用するには、3 ビットまでの 0 か 1 の値を設定します。

入力例）　val_confload=101

（各桁の値が 1：有効、0：無効。省略時は 0）

桁	説明	競合パラメータ
1 の位	探索結果の経路の並び順指定（「共通条件設定」＞「探索時の表示順設定」）	val_sorttype
10 の位	探索結果の回答数の最大値（「共通条件設定」＞「回答数」）	val_max_result
100 の位	「経路一覧」に片道／往復運賃と定期代を比較表示するかどうか（「探索結果の設定」＞「乗車券・定期運賃の比較表示」）	

環境設定に関する詳細は、管理者用サイトの「環境設定」のヘルプを参照してください。

なお、「val_confload」の優先度は高く設定されています。

「val_confload」と、競合するパラメータ両方を利用している場合には、「val_confload」が優先され、環境設定の設定値が適用されます。

しかし、「val_confload」の値が 0 で、競合するパラメータを利用している場合には、競合するパラメータが適用されます。

例）val_confload=0 &val_sorttype=4　……　val_sorttype の定期順が優先される

※6 「val_jr_yoyaku」について

EX 予約/スマート EX を考慮した計算と学割運賃の計算は併用できません。同時に指定するとパラメータエラーになります。

ＪＲ新幹線の会員制予約サービスを適用した計算をします。実際に購入する際の運賃とは異なる場合がありますので、参考情報としてご利用ください。

各サービスの入会の条件や、利用の詳細についてはＪＲ各社へお問い合わせください。

以下のサービスに対応しています。

駅すぱあと名称	事業者の商品名称
◆ＥＸ予約	「ＥＸ予約サービス」、「ＥＸ予約サービス(往復割引)」
◆ＥＸ予約(e 特急券)	「e 特急券」
◆ＥＸ予約(ＥＸ早特)	「ＥＸ早特３」、「ＥＸ早特７」
◆ＥＸ予約(ＥＸ早特２１)	「ＥＸ早特 21 ワイド」
◆ＥＸ予約(ＥＸグリーン早特)	「ＥＸグリーン早特３ワイド」、「ＥＸこだまグリーン早特３」
◆ＥＸ予約(ＥＸ早特２８)	「ＥＸ早特 28 ワイド」
◆ＥＸ予約(ＥＸ早特１)	「ＥＸ早特１」
◆スマートＥＸ	「スマートＥＸサービス」、「スマートＥＸサービス(往復割引)」
◆スマートＥＸ(ＥＸ早特)	スマートＥＸ「ＥＸ早特３」、スマートＥＸ「ＥＸ早特７」
◆スマートＥＸ(ＥＸ早特２１)	スマートＥＸ「ＥＸ早特 21 ワイド」
◆スマートＥＸ(ＥＸグリーン早特)	スマートＥＸ「ＥＸグリーン早特３ワイド」、スマートＥＸ「ＥＸこだまグリーン早特３」
◆スマートＥＸ(ＥＸ早特２８)	スマートＥＸ「ＥＸ早特 28 ワイド」
◆スマートＥＸ(ＥＸ早特１)	スマートＥＸ「ＥＸ早特１」

※7 「val_sinkansen_e_ticket」について

新幹線 e チケットを考慮した計算と学割運賃の計算は併用できません。同時に指定するとパラメータエラーになります。

1-6 探索結果のカスタマイズ

経路探索インターフェースの「詳細型」は会話画面を持たないため、一部の探索結果を得ることができません。このため、探索結果をカスタマイズするパラメータを事前に入力パラメータに設定することで、目的の探索結果を得る機能を提供します。

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2

現在提供されている「カスタマイズタイプ」は以下の通りです。

- TeikiClass：定期券区間の定期クラス
- TicketSystemType：乗車券区間のチケットシステムタイプ

カスタマイズタイプは、以下のいずれかの入力パラメータに設定することで利用できます。

- val_cstm[cstmNo]_r[routeNo]_type
- val_cstm[cstmNo]_all_type

[cstmNo] はカスタマイズの番号を表します。番号は 1 から順番に通し番号で指定してください。なお、カスタマイズの内容は番号の大きいものが優先されます。

[routeNo] はカスタマイズする経路の番号を表します。目的の経路にのみカスタマイズを適用する場合、一度同じ条件で探索を行い、探索結果に含まれる目的の経路における経路番号をご確認の上、指定してください。

また、all の場合は全経路を対象としてカスタマイズを適用します。全ての探索結果について適用する場合はこちらをご利用ください。

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_cstm[cstmNo]_r[routeNo]_type val_cstm[cstmNo]_all_type	カスタマイズタイプ ("TeikiClass","TicketSystemType" を指定)
val_cstm[cstmNo]_tkcls_seq	定期券区間番号※1 カスタマイズタイプが [TeikiClass] の場合
val_cstm[cstmNo]_tkcls	定期クラス (2Section：二区間定期、passage：区間外定期、 general：一般定期、wRoute：だぶるーと、 t2Route：二区間定期券、s2Route：One だぶる♪、 mottoku：モットクパス、icfare：IC 金額定期、 icteiki：IC 定期、dedfare：金額式定期、 weekday：平日限定定期、dottiimo：どっちーも、 zensen：全線定期、linefree：路線フリー定期、 yumeshima：全線定期券（夢洲版）) カスタマイズタイプが [TeikiClass] の場合
val_cstm[cstmNo]_tksystype_seq	乗車券区間番号※1 カスタマイズタイプが [TicketSystemType] の場合
val_cstm[cstmNo]_tksystype	乗車券区間のシステムタイプ （normal：普通乗車券、IC：IC カード乗車券） カスタマイズタイプが [TicketSystemType] の場合

※1　区間番号について

区間番号は、乗車券または定期券が存在する区間ごとに割り振られた番号です。"1_3" のようにアンダースコアで区切ることで複数の区間を指定できます。また、"all" を指定した場合、該当経路の全区間が設定されます。

＜利用例１＞

「北大宮」から「三河島」までの探索（平均）を行った場合、探索結果の１経路目は、「北大宮-(東武野田線)-大宮-(ＪＲ東北本線)-上野-(ＪＲ常磐線快速)-三河島」となり、定期券区間「大宮－三河島」は「ＪＲ二区間定期」として計算されます。

これを「区間外定期」として計算する場合、探索時の入力パラメータに以下の内容を追加して探索を行い、探索結果をカスタマイズする必要があります。

```
val_cstm1_r1_type    = TeikiClass
val_cstm1_tkcls_seq = all          （←全ての定期券区間が対象）
val_cstm1_tkcls      = passage     （←「区間外定期」を指定）
```

またこの場合、定期券区間「北大宮 － 大宮」は「区間外定期」を設定できないため、定期クラスは変更されません。

＜利用例２＞

「1-7 使用路線の指定」の利用や、事前に探索を行うなどにより、探索結果の内容が分かっている場合には、定期券区間番号を指定して定期クラスを設定することができます。

利用例１の探索結果は、2 番目の定期券区間「大宮－三河島」が「ＪＲ二区間定期」として計算されます。2 番目の定期券区間を「区間外定期」として計算する場合、以下のパラメータを追加して探索結果をカスタマイズすることができます。

```
val_cstm1_r1_type    = TeikiClass
val_cstm1_tkcls_seq = 2            （←2 番目の定期券区間が対象）
val_cstm1_tkcls      = passage     （←「区間外定期」を指定）
```

※ 上記の探索結果は、2010 年 9 月版現在のものです。

1-7 使用路線の指定

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜入力パラメータ＞

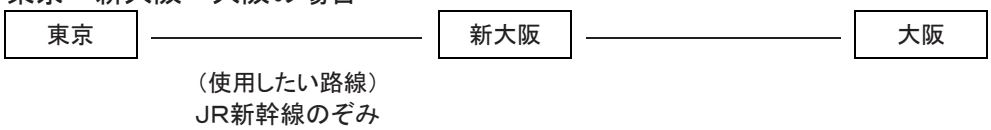
名称	説明
val_noritugi01	1 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ）
val_noritugi02	2 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ）
val_noritugi03	3 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ）
val_noritugi04	4 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ）
val_noritugi05	5 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ） ※1
val_noritugi06	6 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ） ※1
val_noritugi07	7 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ） ※1
val_noritugi08	8 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ） ※1
val_noritugi09	9 番目の路線区間の使用路線の指定（ ロングネーム ） ※1

※1「val_noritugi05」～「val_noritugi09」は、「val_addto」で経由駅を追加した場合に指定できます。

使用路線の指定方法について

出発駅・目的駅と使用路線の対応は以下のようになっています。使用路線を指定したい場合はそれに対応したパラメータにデータを設定してください。

例　東京～新大阪～大阪の場合



パラメータの設定は下記のようになります。

パラメータ	内容
出発駅（val_from）	東京
目的駅 1(val_to01)	新大阪
目的駅 2(val_to02)	大阪
使用路線の指定 1(val_noritugi01)	ＪＲ新幹線のぞみ
使用路線の指定 2(val_noritugi02)	未指定

1-8 不通路線の指定

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_use_stopsect	不通路線または会社を考慮した探索 （y：考慮する、n：考慮しない、省略時は n）
val_stopsect01	利用しない路線名または路線会社名 1（ ロングネーム ）
val_stopsect02	利用しない路線名または路線会社名 2（ ロングネーム ）
val_stopsect03	利用しない路線名または路線会社名 3（ ロングネーム ）
val_stopsect04	利用しない路線名または路線会社名 4（ ロングネーム ）
val_stopsect05	利用しない路線名または路線会社名 5（ ロングネーム ）
val_stopsect06	利用しない路線名または路線会社名 6（ ロングネーム ）
val_stopsect07	利用しない路線名または路線会社名 7（ ロングネーム ）
val_stopsect08	利用しない路線名または路線会社名 8（ ロングネーム ）
val_stopsect09	利用しない路線名または路線会社名 9（ ロングネーム ）
val_stopsect10	利用しない路線名または路線会社名 10（ ロングネーム ）

不通路線について
＜val_use_stopsectの設定＞

- 「不通路線または会社を考慮した探索」を「y」にした場合
  パラメータで不通路線を指定した場合、そのパラメータの情報をもとに探索します。
  指定しない場合は、管理者によって設定されている情報により探索します。

- 「不通路線または会社を考慮した探索」を「n」にした場合
  管理者によって不通路線情報が設定されていても、その情報を考慮せずに探索します。

＜指定方法＞

会社名の指定も可能な点以外は、使用路線の指定方法と同様です。

1-9 その他の入力パラメータ

各パラメータごとに利用可能インターフェースが異なります。

利用可能インターフェース	cgi_details2, cgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む （y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n） ※1

※1　Cookieについて

Cookie に使用されるドメイン名とパス名は、「val_cgi_url」から取り出しています。
Cookie に書き込む場合、ドメイン名とパス名を指定しなければ CGI インターフェースを使う側で Cookie を参照できません。また、Cookie の情報は最大 4KB までしか書き込めませんので、出力結果が 4KB 以上になった場合には情報は書き込むことができませんのでご了承ください。
Cookie 側のパラメータ名は「val_cookie_param」です。

例 「val_cgi_url」が「http://hostName/cgi-bin/cgi.exe」の場合

ドメイン名	パス名
hostName	/cgi-bin

利用可能インターフェース	cgi_result2_h

名称	説明
val_aircorp_const	探索結果の航空会社の選択の有無 （0：選択可、1：選択不可 省略時は 0）（ ブラウザ制限あり ） ※2

※2　航空会社の選択について

本機能は全機能版対応ブラウザでのみ動作保証をしております。
全機能版対応ブラウザの一覧は、製品のヘルプをご確認ください。

利用可能インターフェース	cgi_result2_h, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign_h

名称	説明
val_popupmenu	駅情報・区間情報メニューの利用 ※3

※3 駅情報・区間情報メニューについて

インターフェース名に「_h」がつく会話型 CGI では、探索結果画面から駅情報メニューと区間情報メニューを利用することができます。

これらのメニューは大きく分けて「駅情報（内部サイト）」、「駅情報（外部サイト）」、「区間情報」の 3 種類があり、入力パラメータ「val_popupmenu」で、各種類ごとに利用するかどうかを設定できます。

駅情報を「利用する」と設定した場合、探索結果の駅アイコンがクリックできるようになります。区間情報を「利用する」と設定した場合、探索結果に区間アイコンが表示されます。
これらのアイコンをクリックし、メニューを選択すると、選択したメニューに該当する情報が別画面で表示されます。

※ 駅情報・区間情報メニューは、探索結果画面から派生する子画面では利用できません。

区分	「val_popupmenu」の設定方法	メニュー
駅情報（内部サイト）	1 の位 （1：利用する、2：利用しない、省略時は 2）	出口案内
		福祉設備
駅情報（外部サイト）	10 の位 （1：利用する、2：利用しない、省略時は 2）	宿泊予約
		交通機関の駅情報
区間情報	100 の位 （1：利用する、2：利用しない、省略時は 2）	空席・予約案内

駅情報（外部サイト）と区間情報は、外部の WEB サイトへ遷移するため、インターネット接続環境が必要です。CGI インターフェース利用時の外部サイトへのアクセスを禁止したい場合は、これらを「利用しない」と設定することを推奨します。

※ 駅情報・区間情報メニューを「利用する」と設定した場合でも、その駅または区間に 該当する情報が用意されていない場合は、利用することができません。
（例： 駅情報（外部サイト）を「利用する」と設定しても、探索結果の駅アイコンが路線バスの場合、「交通機関の駅情報」のメニューは表示されません。）

利用可能インターフェース	cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassing_h

名称	説明
val_cgi_back_url	戻る CGI の URL(省略時は呼び出す CGI の URL(val_cgi_url) と同じ) (最大文字列 512bytes) (会話型のみ可)

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassing_h

名称	説明
val_connect_id	同時接続 ID ※4

※4 同時接続 ID について

このパラメータは、あらかじめ「21. 同時接続 ID を取得する」
(cgi_connect_id, jcgi_connect_id) を利用した上で使用します。

cgi_connect_id, jcgi_connect_id にて取得した val_connect_id のパラメータ値を、
本パラメータの値として指定します。
なお、同時接続数を越えている場合には、パラメータエラーとなり探索できません。

利用可能インターフェース	cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassing_h

名称	説明
val_fare_const	探索結果の乗車券区間金額リストの選択の有無、複数指定する場合は「_」でつなぐ (train : 鉄道を選択不可、routebus : 路線バスを選択不可、 air : 飛行機を選択不可、ship : 船を選択不可、 省略時はすべて選択可)

鉄道と路線バスを選択不可とする場合に引き渡す値は「train_routebus」となります。

出力パラメータについて

出力パラメータは、各経路・区間ごとの通し番号を含んだパラメータ名で出力されます。

例）各路線区間の CO2 排出量を示すパラメータの場合

val_r[routeNo]_line_co2_[lineNo]

val_r3_line_co2_5 = 300

⇒ 3 番目の経路の、5 番目の路線の CO2 排出量 ＝ 300g

頻出する通し番号は以下をご覧ください。

[routeNo]　経路の通し番号

[lineNo]　路線区間の通し番号

[fsectNo]　乗車券区間の通し番号

[csectNo]　料金区間の通し番号

[tsectNo]　定期券区間の通し番号

※ 各区間は異なります。

＜詳細型と会話型の出力パラメータの違い＞

詳細型は複数経路のパラメータを出力しますが、

会話型は 1 経路のパラメータのみ出力します。

そのため、出力パラメータ名に以下のような違いがあります。

例）各路線区間の CO2 排出量を示すパラメータの場合

詳細型・・・　val_r[routeNo]_line_co2_[lineNo]

会話型・・・　val_line_co2_[lineNo]

＜具体例＞

例 1：cgi_details2 の場合

val_r1_line_cnt　= 1

val_r1_line_to_1　= 新宿

val_r1_line_time_1 = 20

例 2：cgi_result2 の場合

val_line_cnt　= 1

val_line_to_1　= 新宿

val_line_time_1　= 20

2-1 経路出力パラメータ（平均）

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_route_cnt	経路の数（詳細型のみ出力） 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_routeno	選択した経路 No.（会話型のみ出力）
val_route_[routeNo] val_route	経路の文字列
val_time_[routeNo] val_time	所要時間（単位：分）
val_board_time_[routeNo] val_board_time	乗車時間合計（単位：分）
val_walk_time_[routeNo] val_walk_time	徒歩時間合計（単位：分）
val_other_time_[routeNo] val_other_time	その他時間合計（単位：分）
val_dist_[routeNo] val_dist	距離（単位：100m）
val_transfer_[routeNo] val_transfer	乗換え回数
val_fare_[routeNo] val_fare	経路の運賃の合計金額（航空運賃、船の運賃含む）
val_surcharge_fare_[routeNo] val_surcharge_fare	経路の料金の合計金額
val_teiki1_[routeNo] val_teiki1	1 ヵ月の定期代
val_teiki3_[routeNo] val_teiki3	3 ヵ月の定期代
val_teiki6_[routeNo] val_teiki6	6 ヵ月の定期代
val_teiki12_[routeNo] val_teiki12	12 ヵ月の定期代
val_r[routeNo]_connect_cnt val_connect_cnt	乗り入れ数
val_r[routeNo]_connect_line_[connectNo] val_connect_line_[connectNo]	乗り入れ路線番号

名称	説明
val_r[routeNo]_teiki_available val_teiki_available	「駅すぱあと」における定期券としての利用可能判定 0：利用不可 （「駅すぱあと」に定期券として登録できない情報 ） 1：利用可 （「駅すぱあと」に定期券として登録できる情報 ）※1
val_restoreroute_[routeNo] val_restoreroute	方向性を持った経路文字列 （ 定期券利用区間指定用 ）※2
val_teiki_station_cnt_[routeNo] val_teiki_station_cnt	経路の駅数 （ 定期券利用区間指定用 ）※2
val_teiki_stationnamelist_[routeNo] val_teiki_stationnamelist	経路の駅名リスト （ 定期券利用区間指定用 ）※2
val_teiki_rail_cnt_[routeNo] val_teiki_rail_cnt	経路の路線数 （ 定期券利用区間指定用 ）※2
val_teiki_railnamelist_[routeNo] val_teiki_railnamelist	経路の路線名リスト （ 定期券利用区間指定用 ）※2

※1　定期券として利用できる経路について

定期券として利用できる経路は、「駅すぱあと」に登録できる経路のみです。
それ以外の場合は、定期券の経路として利用できないと判断され、
「val_(r[routeNo]_)teiki_available = 0」が出力されます。

このような経路を定期券利用時の運賃計算に利用した場合も計算が行われ、経路によっては控除された結果が出力されますが、実際の金額とは差異が発生することがあります。

（ 互換性を保つため、利用できない定期券が入力された場合でも、定期券利用時の運賃計算は行われます ）

※2　定期券利用区間指定用パラメータについて

定期券利用時の運賃計算を行う際に利用する出力パラメータで、平均探索のみのパラメータとなります。

詳細は、「3-1　定期券利用時の運賃計算（ 詳細な計算結果 ）」をご参照ください。

2-2 経路出力パラメータ（ダイヤ）

利用可能インターフェース	cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_route_cnt	経路の数（ 詳細型のみ出力 ） 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_route_[routeNo] val_route	経路の文字列
val_dep_date_[routeNo] val_dep_date	出発日（yyyymmdd 形式 ）
val_arr_date_[routeNo] val_arr_date	到着日（yyyymmdd 形式 ）
val_dep_time_[routeNo] val_dep_time	出発時刻（ 単位：分 ）
val_arr_time_[routeNo] val_arr_time	到着時刻（ 単位：分 ）
val_time_[routeNo] val_time	所要時間（ 単位：分 ）
val_board_time_[routeNo] val_board_time	乗車時間合計（ 単位：分 ）
val_walk_time_[routeNo] val_walk_time	徒歩時間合計（ 単位：分 ）
val_other_time_[routeNo] val_other_time	その他時間合計（ 単位：分 ）
val_dist_[routeNo] val_dist	距離（ 単位：100m ）
val_transfer_[routeNo] val_transfer	乗換え回数
val_fare_[routeNo] val_fare	経路の運賃の合計金額（ 航空運賃、船の運賃含む ）
val_surcharge_fare_[routeNo] val_surcharge_fare	経路の料金の合計金額
val_teiki1_[routeNo] val_teiki1	1 ヵ月の定期代
val_teiki3_[routeNo] val_teiki3	3 ヵ月の定期代

名称	説明
val_teiki6_[routeNo] val_teiki6	6 ヵ月の定期代
val_teiki12_[routeNo] val_teiki12	12 ヵ月の定期代
val_r[routeNo]_connect_cnt val_connect_cnt	乗り入れ数
val_r[routeNo]_connect_line_[connectNo] val_connect_line_[connectNo]	乗り入れ路線番号

2-3 路線の出力パラメータ

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_line_cnt val_line_cnt	路線区間の数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_line_name_[lineNo] val_line_name_[lineNo]	路線区間の路線名
val_r[routeNo]_line_longname_[lineNo] val_line_longname_[lineNo]	路線区間の路線名（ ロングネーム ） （ 平均探索のみ出力 ）
val_r[routeNo]_line_corp_name_[lineNo] val_line_corp_name_[lineNo]	路線区間の会社名
val_r[routeNo]_line_from_[lineNo] val_line_from_[lineNo]	路線区間の出発駅名
val_r[routeNo]_line_to_[lineNo] val_line_to_[lineNo]	路線区間の到着駅名
val_r[routeNo]_line_time_[lineNo] val_line_time_[lineNo]	路線区間の時間（ 単位：分 ） （ 平均探索のみ出力 ）
val_r[routeNo]_line_dep_time_[lineNo] val_line_dep_time_[lineNo]	路線区間の出発時刻（ 単位：分 ） （ ダイヤ探索のみ出力 ）※1
val_r[routeNo]_line_arr_time_[lineNo] val_line_arr_time_[lineNo]	路線区間の到着時刻（ 単位：分 ） （ ダイヤ探索のみ出力 ）※1
val_r[routeNo]_line_dist_[lineNo] val_line_dist_[lineNo]	路線区間の距離 （ 単位：100m）
val_r[routeNo]_line_stop_station_cnt_[lineNo] val_line_stop_station_cnt_[lineNo]	路線区間の途中停車駅数
val_r[routeNo]_line_traffic_[lineNo] val_line_traffic_[lineNo]	路線区間の交通種類 （1：列車、2：飛行機、3：連絡バス、4：船、 5：徒歩、 6：路線バス、7：高速バス、 8：深夜急行バス、15：ランドマーク ）
val_r[routeNo]_line_type_[lineNo] val_line_type_[lineNo]	路線区間の種別 （0：通常、1：乗入れ、2：折り返し ）
val_r[routeNo]_line_isdisasterdia_[lineNo] val_line_isdisasterdia_[lineNo]	路線区間の東日本大震災に伴う災害・節電の影響に関するダイヤの情報の有無 （0：情報なし、1：情報あり ） （ ダイヤ探索のみ出力 ）※2

名称	説明
val_r[routeNo]_line_disasterdia_serial_[lineNo] val_line_disasterdia_serial_[lineNo]	路線区間の災害ダイヤシリアル （ 東日本大震災に伴う災害・節電の影響に関するダイヤの情報がある場合に取得できます ） （ ダイヤ探索のみ出力 ） ※2
val_r[routeNo]_line_dep_track_type_[lineNo] val_line_dep_track_type_[lineNo]	路線区間の発駅の軌道種別 ※3
val_r[routeNo]_line_arr_track_type_[lineNo] val_line_arr_track_type_[lineNo]	路線区間の着駅の軌道種別 ※3

※1　路線区間の出発時刻と到着時刻について

探索した経路に対して定期経路を当てはめた場合、定期利用区間で乗り降りできない駅が発生することがあります。その場合、時刻は「-1」になります。

＜例＞2015 年 7 月 26 日（日）東京～三鷹で、新宿～高円寺の定期経路を当てはめた場合

```
 9:02          9:16  9:16              -1    -1                9:32
○==========○==========→==========○
東京          新宿                [ 高円寺 ]                三鷹
              |――― 定期区間 ――― |
```

上記の場合、路線区間２と３の出発時間と到着時間は以下の内容になります。

val_r1_line_from_2	新宿
val_r1_line_to_2	高円寺
val_r1_line_dep_time_2	556
val_r1_line_arr_time_2	-1
val_r1_line_from_3	高円寺
val_r1_line_to_3	三鷹
val_r1_line_dep_time_3	-1
val_r1_line_arr_time_3	572

※2　東日本大震災に伴うダイヤの情報に関するパラメータについて

これらのパラメータは、「駅すぱあと」から東日本大震災に伴う災害・節電の影響に関する情報を取得する場合に必要です。

その他のインターフェースの「27. 災害・節電の影響に関するダイヤの情報を取得する」を利用することで情報を取得できます。

なお、この機能は路線区間の交通種類が「列車」の場合にのみ利用できます。
また、この機能は一時的なものであり、将来的に削除する予定です。（ パラメータを出力しなくなります ）
ご了承ください。

※3　軌道種別のパラメータについて

軌道種別の内容は下記の様になります。
1:鉄道、2:路面電車、3:モノレール、4:新交通システム、5:ケーブルカー、6:リニアモーターカー、7:ロープウェイ、0:不明

2-4 乗車券の出力パラメータ（平均）

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_fsect_cnt val_fsect_cnt	乗車券区間の数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_from_[fsectNo] val_fsect_from_[fsectNo]	乗車券区間の開始路線
val_r[routeNo]_fsect_to_[fsectNo] val_fsect_to_[fsectNo]	乗車券区間の終了路線
val_r[routeNo]_fsect_fare_[fsectNo] val_fsect_fare_[fsectNo]	乗車券区間の運賃
val_r[routeNo]_fsect_premium_[fsectNo] val_fsect_premium_[fsectNo]	乗車券区間の航空保険特別料金 ※ 2018 年 1 月版で航空保険特別料金の設定が無効になり、0 を出力します
val_r[routeNo]_fsect_discountname_[fsectNo] val_fsect_discountname_[fsectNo]	乗車券区間の割引名称、EX 予約名称、新幹線 e チケット名称（ 割引が適用されていない区間は値が出力されません ）
~~val_r[routeNo]_fsect_not_correspond_consumption_tax_[fsectNo]~~ ~~val_fsect_not_correspond_consumption_tax_[fsectNo]~~	~~乗車券区間の消費税率引き上げに伴う改定~~ ~~1：対応していない~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
val_r[routeNo]_fsect_fclassno_[fsectNo] val_fsect_fclassno_[fsectNo]	選択された運賃クラスリストの番号 （「 運賃クラス 」は複数船室の等級がある船の運賃などの情報です ） ※「 駅すぱあと 」によって自動選択されたもの （ 航空会社の情報は運賃クラスには含まれません ）
val_r[routeNo]_fsect_fclassname_[fsectNo] val_fsect_fclassname_[fsectNo]	選択された運賃クラスの名称 ※「 駅すぱあと 」によって自動選択されたもの （ 航空会社の情報は運賃クラスには含まれません ）
val_r[routeNo]_fsect_ticketsysno_[fsectNo] val_fsect_ticketsysno_[fsectNo]	乗車券区間の選択されたシステムタイプの番号
val_r[routeNo]_fsect_ticketsysname_[fsectNo] val_fsect_ticketsysname_[fsectNo]	乗車券区間の選択されたシステムタイプの名称 （ 例：IC カード乗車券 ）
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo]_farename val_fsect_airfare_[fsectNo]_farename	乗車券区間の航空運賃種類名称 （ 航空時刻表保守期間前：参考運賃、 航空時刻表保守期間後：前期適用運賃 ）

名称	説明
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo]_cnt val_fsect_airfare_[fsectNo]_cnt	乗車券区間の航空便数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo] _name_[airfareNo] val_fsect_airfare_[fsectNo]_name_[airfareNo]	乗車券区間の航空便の会社名
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo] _fare_[airfareNo] val_fsect_airfare_[fsectNo]_fare_[airfareNo]	乗車券区間の航空便の運賃
val_r[routeNo]_fsect_airport_[fsectNo] _depcharge val_fsect_airport_[fsectNo]_depcharge	乗車券区間の出発空港の使用料
val_r[routeNo]_fsect_airport_[fsectNo] _arrcharge val_fsect_airport_[fsectNo]_arrcharge	乗車券区間の到着空港の使用料
val_r[routeNo]_fsect_fclass_[fsectNo]_cnt val_fsect_fclass_[fsectNo]_cnt	乗車券区間の運賃クラス数 区間数が 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_fclass_[fsectNo] _name_[fclassNo] val_fsect_fclass_[fsectNo]_name_[fclassNo]	乗車券区間の運賃クラスの名称
val_r[routeNo]_fsect_fclass_[fsectNo] _fare_[fclassNo] val_fsect_fclass_[fsectNo]_fare_[fclassNo]	乗車券区間の運賃クラスの運賃
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo]_cnt val_fsect_ticketsys_[fsectNo]_cnt	乗車券区間のシステムタイプ数 区間数が 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo] _name_[ticketsysNo] val_fsect_ticketsys_[fsectNo] _name_[ticketsysNo]	乗車券区間のシステムタイプの名称 （ 例：IC カード乗車券 ）
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo] _fare_[ticketsysNo] val_fsect_ticketsys_[fsectNo] _fare_[ticketsysNo]	乗車券区間のシステムタイプの運賃
~~val_r[routeNo]_fsect_money_state_[fsectNo]~~ ~~val_fsect_money_state_[fsectNo]~~	~~乗車券区間の金額に対するステータス~~ ~~1：改定前の金額~~ ~~2：見込の金額~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
~~val_r[routeNo]_fsect_money_state_note~~ ~~_[fsectNo]~~ ~~val_fsect_money_state_note_[fsectNo]~~	~~乗車券区間の金額に対するコメント~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止

val_r[routeNo]_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status val_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status	乗車券区間の金額ステータス 0：正規運賃 1：改定前運賃 2：見込み運賃
val_r[routeNo]_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status_note val_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status_note	乗車券区間の金額ステータスのコメント

2-5 乗車券の出力パラメータ（ダイヤ）

利用可能インターフェース	cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_fsect_cnt val_fsect_cnt	乗車券区間の数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_from_[fsectNo] val_fsect_from_[fsectNo]	乗車券区間の開始路線
val_r[routeNo]_fsect_to_[fsectNo] val_fsect_to_[fsectNo]	乗車券区間の終了路線
val_r[routeNo]_fsect_fare_[fsectNo] val_fsect_fare_[fsectNo]	乗車券区間の運賃
val_r[routeNo]_fsect_premium_[fsectNo] val_fsect_premium_[fsectNo]	乗車券区間の航空保険特別料金 ※ 2018 年 1 月版で航空保険特別料金の設定が無効になり、0 を出力します
val_r[routeNo]_fsect_discountname_[fsectNo] val_fsect_discountname_[fsectNo]	乗車券区間の割引名称、EX 予約名称、新幹線 e チケット名称（割引が適用されていない区間は値が出力されません）
~~val_r[routeNo]_fsect_not_correspond_consumption_tax_[fsectNo]~~ ~~val_fsect_not_correspond_consumption_tax_[fsectNo]~~	~~乗車券区間の消費税率引き上げに伴う改定 1：対応していない~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
val_r[routeNo]_fsect_fclassno_[fsectNo] val_fsect_fclassno_[fsectNo]	選択された運賃クラスリストの番号 （「 運賃クラス 」は複数船室の等級がある船の運賃などの情報です ） ※「 駅すぱあと 」によって自動選択されたもの（ 航空会社の情報は運賃クラスには含まれません ）
val_r[routeNo]_fsect_fclassname_[fsectNo] val_fsect_fclassname_[fsectNo]	選択された運賃クラスの名称 ※「 駅すぱあと 」によって自動選択されたもの（ 航空会社の情報は運賃クラスには含まれません ）
val_r[routeNo]_fsect_ticketsysno_[fsectNo] val_fsect_ticketsysno_[fsectNo]	乗車券区間の選択されたシステムタイプの番号
val_r[routeNo]_fsect_ticketsysname_[fsectNo] val_fsect_ticketsysname_[fsectNo]	乗車券区間の選択されたシステムタイプの名称 （ 例：IC カード乗車券 ）
val_r[routeNo]_fsect_airfare_cnt_[fsectNo] val_fsect_airfare_cnt_[fsectNo]	乗車券区間の航空運賃種類数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo] val_fsect_airfare_[fsectNo]	乗車券区間の区分名

名称	説明
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo] _farename_[airfareNo] val_fsect_airfare_[fsectNo] _farename_[airfareNo]	乗車券区間の航空運賃種類名称 （ 推奨 ） （ 航空時刻表保守期間中：普通運賃、 航空時刻表保守期間後：前期適用運賃 ）
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo] _name_[airfareNo] val_fsect_airfare_[fsectNo]_name_[airfareNo]	乗車券区間の航空運賃種類名称 （ 上記と同じ。互換のため 2 種類存在します ）
val_r[routeNo]_fsect_airfare_[fsectNo] _fare_[airfareNo] val_fsect_airfare_[fsectNo]_fare_[airfareNo]	乗車券区間の航空便の運賃
val_r[routeNo]_fsect_airport_[fsectNo] _depcharge val_fsect_airport_[fsectNo]_depcharge	乗車券区間の出発空港の使用料
val_r[routeNo]_fsect_airport_[fsectNo] _arrcharge val_fsect_airport_[fsectNo]_arrcharge	乗車券区間の到着空港の使用料
val_r[routeNo]_fsect_fclass_[fsectNo]_cnt val_fsect_fclass_[fsectNo]_cnt	乗車券区間の運賃クラス数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_fclass_[fsectNo] _name_[fclassNo] val_fsect_fclass_[fsectNo]_name_[fclassNo]	乗車券区間の運賃クラスの名称
val_r[routeNo]_fsect_fclass_[fsectNo] _fare_[fclassNo] val_fsect_fclass_[fsectNo]_fare_[fclassNo]	乗車券区間の運賃クラスの運賃
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo]_cnt val_fsect_ticketsys_[fsectNo]_cnt	乗車券区間のシステムタイプ数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo] _name_[ticketsysNo] val_fsect_ticketsys_[fsectNo] _name_[ticketsysNo]	乗車券区間のシステムタイプの名称 （ 例：IC カード乗車券 ）
val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo] _fare_[ticketsysNo] val_fsect_ticketsys_[fsectNo] _fare_[ticketsysNo]	乗車券区間のシステムタイプの運賃
~~val_r[routeNo]_fsect_money_state_[fsectNo]~~ ~~val_fsect_money_state_[fsectNo]~~	~~乗車券区間の金額に対するステータス~~ ~~1：改定前の金額~~ ~~2：見込の金額~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止

~~val_r[routeNo]_fsect_money_state_note_[fsectNo]~~ ~~val_fsect_money_state_note_[fsectNo]~~	~~乗車券区間の金額に対するコメント~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
val_r[routeNo]_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status val_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status	乗車券区間の金額ステータス 0：正規運賃 1：改定前運賃 2：見込み運賃
val_r[routeNo]_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status_note val_fsect_fare_[fsectNo]_supported_status_note	乗車券区間の金額ステータスのコメント

2-6 料金の出力パラメータ

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_csect_cnt val_csect_cnt	料金区間の数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_csect_from_[csectNo] val_csect_from_[csectNo]	料金区間の開始路線
val_r[routeNo]_csect_to_[csectNo] val_csect_to_[csectNo]	料金区間の終了路線
val_r[routeNo]_csect_name_[csectNo] val_csect_name_[csectNo]	料金区間の選択された料金名 ※「 駅すぱあと 」によって自動選択されたもの
val_r[routeNo]_csect_fare_[csectNo] val_csect_fare_[csectNo]	料金区間の選択された料金 ※「 駅すぱあと 」によって自動選択されたもの
~~val_r[routeNo]_csect_not_correspond_consumption_tax_[csectNo]~~ ~~val_csect_not_correspond_consumption_tax_[csectNo]~~	~~料金区間の消費税率引き上げに伴う改定~~ ~~1：対応していない~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_cnt val_csect_surcharge_[csectNo]_cnt	料金区間の種別数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_name_[surchargeNo] val_csect_surcharge_[csectNo]_name_[surchargeNo]	料金区間の座席名 ※1
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_fare_[surchargeNo] val_csect_surcharge_[csectNo]_fare_[surchargeNo]	料金区間の料金
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_pair	乗継割引相対ペア No.（ 詳細型のみ ） ※2
val_r[routeNo]_csect[csectNo]_[csectNo]	乗継割引相対組み合わせ連番 （ 詳細型のみ ） ※2
val_r[routeNo]_csect[連番 No]_[surchargeNo]_[surchargeNo]	乗継割引相対割引料金リスト （ 詳細型のみ ） ※2
val_r[routeNo]_csect_seasontype_[csectNo] val_csect_seasontype_[csectNo]	料金区間の繁忙期・閑散期 (0：指定席無し、1：閑散期、2：繁忙期、 3：通常期、4：最繁忙期)

名称	説明
val_r[routeNo]_csect_sleepingcar_[csectNo] _cnt val_csect_sleepingcar_[csectNo]_cnt	料金区間の種別数（ 寝台列車 ） 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_csect_sleepingcar_[csectNo] _name_[sleepingcarNo] val_csect_sleepingcar_[csectNo] _name_[sleepingcarNo]	料金区間の座席名（ 寝台列車 ）
val_r[routeNo]_csect_sleepingcar_[csectNo] _fare_[sleepingcarNo] val_csect_sleepingcar_[csectNo] _fare_[sleepingcarNo]	料金区間の料金（ 寝台列車 ）
~~val_r[routeNo]_csect_money_state_[csectNo]~~ ~~val_csect_money_state_[csectNo]~~	~~料金区間の金額に対するステータス~~ ~~1：改定前の金額~~ ~~2：見込の金額~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
~~val_r[routeNo]_csect_money_state_note~~ ~~_[csectNo]~~ ~~val_csect_money_state_note_[csectNo]~~	~~料金区間の金額に対するコメント~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo] _money_state_[surchargeNo] val_csect_surcharge_[csectNo] _money_state_[surchargeNo]	料金区間の種別ごとに金額に対するステータスを返す 1：改定前の金額 2：見込の金額
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo] _money_state_note_[surchargeNo] val_csect_surcharge_[csectNo] _money_state_note_[surchargeNo]	料金区間の種別ごとに金額に対するコメントを返す
val_r[routeNo]_csect_discountname_[csectNo] val_csect_discountname_[csectNo]	料金区間の割引名称、EX 予約名称、新幹線 e チケット名称（割引が適用されていない区間は値が出力されません）
val_r[routeNo]_csect_express_fee_includes _ticket_[csectNo] val_csect_express_fee_includes_ticket _[csectNo]	運賃を含んだ特急料金か判定 0 ： 料金に含まない 1 ： 料金に含む （割引が適用されていない区間は値が出力されません）
val_r[routeNo]_csect_fare_[csectNo]_supported _status val_csect_fare_[csectNo]_supported_status	料金区間の金額ステータス 0：正規運賃 1：改定前運賃 2：見込み運賃
val_r[routeNo]_csect_fare_[csectNo]_supported _status_note val_csect_fare_[csectNo]_supported_status _note	料金区間の金額ステータスのコメント

「駅すぱあと」では、鉄道路線における乗車券（ 運賃 ）以外に必要とされる料金（ グリーン席など ）を「 料金 」として扱っています。普通列車のグリーン席なども料金に含まれます。

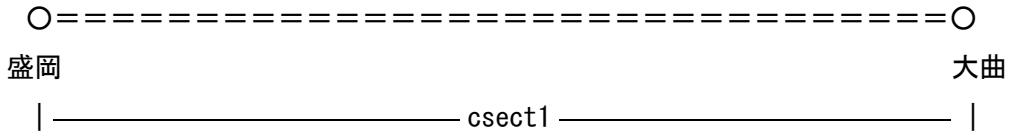
※1　料金の座席名について

自由席、指定席、グリーン席などが返却されます。
特殊な座席名は下記に補足します。どちらも通常、自由席料金と同額です。

・立席
JR における「 立席 」は、指定席のみの列車で、かつ座席に空きが無い場合に限り販売される座席です。空席があっても座ることはできません。

・特定特急料金
特定特急料金区間の内、指定席のみの特急列車で販売される区間（ 盛岡～秋田など ）がありますが、こちらは空席があれば座ることができます。

＜例＞　盛岡～大曲（ 秋田県 ）



指定席	1700 円
グリーン席	2210 円
特定特急料金	1180 円

この経路が「経路　1」の場合、座席名や料金は以下のパラメータに出力されます。
（ 詳細型の場合 ）

val_r1_csect_surcharge_1_cnt	3
val_r1_csect_surcharge_1_name_1	指定席
val_r1_csect_surcharge_1_fare_1	1700
val_r1_csect_surcharge_1_name_2	グリーン
val_r1_csect_surcharge_1_fare_2	2210
val_r1_csect_surcharge_1_name_3	特定特急料金
val_r1_csect_surcharge_1_fare_3	1180

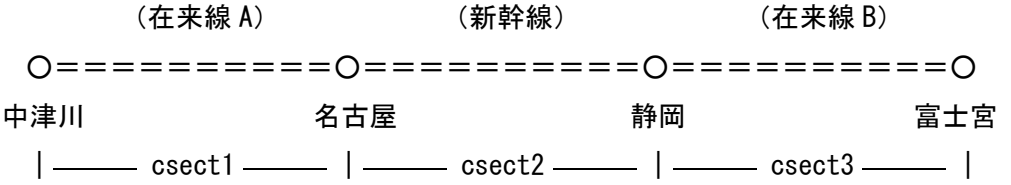
上記のパラメータ「val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_cnt」は、自由席、指定席、グリーン席のような「 座席の種別数 」を表します。

※2　特急列車・急行列車の乗継割引について

JR 線の特急列車や急行列車を乗り継ぐ場合、ＪＲ規定として特急・急行料金、指定席料金が半額になる場合があります。

新幹線をはさんで在来線の特急・急行列車を乗り継ぐ場合は、それぞれの特急料金を比較し、金額が高い方の区間が割引になります。

＜例＞　中津川～富士宮



指定席	1700 円		指定席	1270 円
自由席	1180 円		自由席	750 円
グリーン席	2460 円			

この経路の場合、在来線 A、B ともに指定席を選んだ場合、在来線 A のほうが高額なので、在来線 A が割引区間となり 850 円になります。

在来線 A に自由席、在来線 B に指定席を選んだ場合は、在来線 B のほうが高額になるので、在来線 B が割引区間となり 630 円になります。

このように、新幹線をはさんだ在来線の特急・急行の割引は、双方の指定席・自由席・グリーン席の選択状況により、割引区間が変わります。このとき、在来線 A と在来線 B の関係を「相対関係」と呼びます。

会話型探索では、特急料金のセレクトボックスの選択状況をプログラム内で自動的に判断して、割引になる在来線があれば、割引後の金額を表示します。
詳細型探索の場合は、下記のパラメータを用いて、乗継割引に関する情報が取得できます。

・val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_pair
・val_r[routeNo]_csect[csectNo]_[csectNo]
・val_r[routeNo]_csect[連番 No]_[surchargeNo]_[surchargeNo]

cgi_result2_h の場合

会話型探索で、乗継割引の料金を求める場合は、val_csect_fare_[csectNo] をご利用ください。

val_csect_fare_[csectNo]　：選択された料金金額
val_csect_name_[csectNo]　：選択された料金名

cgi_details2 の場合

詳細型探索では、出力パラメータを用いて、乗継割引に関する情報が取得できます。
ここでは、「<例> 中津川～富士宮」の「経路 1」について説明します。

●ペア No.

例では、料金の区間数は 3(val_r1_csect_cnt=3) であり、csect1 は「中津川～名古屋」、csect2 は「名古屋～静岡」、csect3 は「静岡～富士宮」を指します。この中で乗継割引対象となる区間は、csect1 と csect3 です。csect2 は割引対象ではありません。

料金区間が乗継割引の対象であるかどうかは、
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_pair の値で判定できます。
0 の場合、その区間は乗継割引の対象ではあ りません。
0 以外の場合は、その区間が乗継割引の対象であることを意味し、パラメータの値は相対関係の相手の区間を表します。

パラメータ名と値	説明
val_r1_csect_surcharge_1_pair = 3	割引あり、相対関係は csect3
val_r1_csect_surcharge_2_pair = 0	割引なし
val_r1_csect_surcharge_3_pair = 1	割引あり、相対関係は csect1

●割引料金のテーブル

csect1 と csect3 が相対関係にある場合、相手の料金種別によって割引される区間が変わるため、マトリックス表のようなデータをパラメータで出力します。
パラメータ名は以下のようになります。

val_r[routeNo]_csect[連番 No]_[csect1 の surchargeNo]_[csect3 の surchargeNo]

例では、csect1 と csect3 の区間に対して以下のパラメータが出力されます。

（例：cgi_details2 での出力）

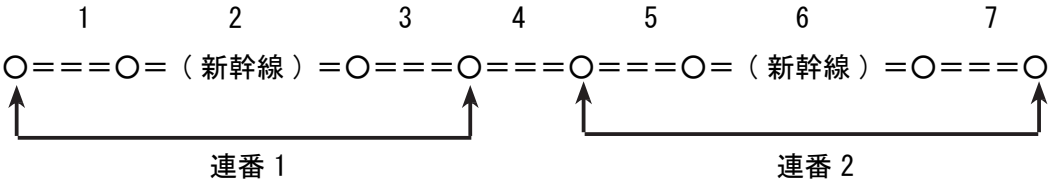
パラメータ名と値	中津川～名古屋	静岡～富士宮（csect3）
val_r1_csect1_1_1 = 850,1270	指定席（850 円）	指定席（1270 円）
val_r1_csect1_1_2 = 850,750	指定席（850 円）	自由席（750 円）
val_r1_csect1_2_1 = 1180,630	自由席（1180 円）	指定席（630 円）
val_r1_csect1_2_2 = 590,750	自由席（590 円）	自由席（750 円）
val_r1_csect1_3_1 = 2460,630	グリーン席（2460 円）	指定席（630 円）
val_r1_csect1_3_2 = 1870,750	グリーン席（1870 円）	自由席（750 円）

※座席名は、それぞれの区間における[surchargeNo]に対応する
val_r[routeNo]_csect_surcharge_[csectNo]_name_[surchargeNo]
に出力されるパラメータ値から取得できます。

※ CGI インターフェースで出力した場合と、JCGI インターフェースで出力した場合とでは出力される値が変わります。
CGI インターフェースの場合： val_r1_csect1_1_2 = 850,750
JCGI インターフェースの場合： val_r1_csect1_1_2 = 850_750

●連番 Noについて

csect1 と csect3 のような関係（相対関係）は、1 つの経路に複数存在する場合があります。
例えば以下の経路では、csect1 と csect3、csect5 と csect7 が相対関係になります。



そのため、csect1 と csect3 を「連番 1」、csect5 と csect7 を「連番 2」などといった、「連番No」による区間分けを行います。

相対関係は、val_r[routeNo]_csect[csectNo]_[csectNo] というパラメータで表現され、上記の例では「val_r1_csect1_3 = 1」、「val_r1_csect5_7 = 2」となります。

※本項の例で扱っている経路や金額は、実際に取得できる値とは異なる場合があります。

2-7 定期券の出力パラメータ

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_tsect_cnt val_tsect_cnt	定期券区間の数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_tsect_from_[tsectNo] val_tsect_from_[tsectNo]	定期券区間の開始路線
val_r[routeNo]_tsect_to_[tsectNo] val_tsect_to_[tsectNo]	定期券区間の終了路線
val_r[routeNo]_tsect_teiki1_[tsectNo] val_tsect_teiki1_[tsectNo]	定期券区間の 1 ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_teiki3_[tsectNo] val_tsect_teiki3_[tsectNo]	定期券区間の 3 ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_teiki6_[tsectNo] val_tsect_teiki6_[tsectNo]	定期券区間の 6 ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_teiki12_[tsectNo] val_tsect_teiki12_[tsectNo]	定期券区間の 12 ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_zensen_[tsectNo] val_tsect_zensen_[tsectNo]	定期券区間の全線定期 (0：全線定期を共通使用可能 な区間無し、 1 以上：全線定期を共通使用可能な区間の内、 最初の区間番号) ※1
~~val_r[routeNo]_tsect_not_correspond_consumption_tax_[tsectNo]~~ ~~val_tsect_not_correspond_consumption_tax_[tsectNo]~~	~~定期券区間の消費税率引き上げに伴う改定~~ ~~1：対応していない~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
val_r[routeNo]_tsect_tkcls_[tsectNo] val_tsect_tkcls_[tsectNo]	定期券区間の選択された定期クラス※2 (2Section：二区間定期、passage：区間外定期、 general：一般定期、wRoute：だぶるーと、 t2Route：二区間定期券、s2Route：One だぶる♪、 mottoku：モットクパス、icfare：IC 金額定期、 icteiki：IC 定期、dedfare：金額式定期、 weekday：平日限定定期、dottiimo：どっちーも、 zensen：全線定期、linefree：路線フリー定期、 yumeshima：全線定期券（夢洲版）)
val_r[routeNo]_tsect_tkclslist_[tsectNo]_cnt val_tsect_tkclslist_[tsectNo]_cnt	定期券区間で選択可能な定期クラスの種別数

val_r[routeNo]_tsect_tkclslist_[tsectNo] _tkcls_[tkclsNo] val_tsect_tkclslist_[tsectNo] _tkcls_[tkclsNo]	定期券区間で選択可能な定期クラス※2 (2Section：二区間定期、passage：区間外定期、 general：一般定期、wRoute：だぶるーと、 t2Route：二区間定期券、s2Route：One だぶる♪、 mottoku：モットクパス、icfare：IC 金額定期、 icteiki：IC 定期、dedfare：金額式定期、 weekday：平日限定定期、dottiimo：どっちーも、 zensen：全線定期、linefree：路線フリー定期、 yumeshima：全線定期券（夢洲版）)
~~val_r[routeNo]_tsect_money_state_[tsectNo]~~ ~~val_tsect_money_state_[tsectNo]~~	~~定期券区間の金額に対するステータス~~ ~~1：改定前の金額~~ ~~2：見込の金額~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
~~val_r[routeNo]_tsect_money_state_note_[tsectNo]~~ ~~val_tsect_money_state_note_[tsectNo]~~	~~定期券区間の金額に対するコメント~~ ※2025 年 2 月 1 版で廃止
val_r[routeNo]_tsect_offpeak_teiki_[tsectNo] val_tsect_offpeak_teiki_[tsectNo]	1：オフピーク定期区間として算出した
val_r[routeNo]_tsect_teiki_[tsectNo] _supported_status val_tsect_teiki_[tsectNo]_supported_status	定期券区間の金額ステータス 0：正規運賃 1：改定前運賃 2：見込み運賃
val_r[routeNo]_tsect_teiki_[tsectNo] _supported_status_note val_tsect_teiki_[tsectNo]_supported_status _note	定期券区間の金額ステータスのコメント

※1 全線定期について

同じ全線定期券を利用できる区間が複数ある場合に限り、
val_r[routeNo]_tsect_zensen_[tsectNo]
に、1 以上の値が返却されます。

値は、共通で使用できる定期区間の内で、初めの定期区間番号になります。
そのため
val_r3_tsect_zensen_4 = 2
val_r3_tsect_zensen_6 = 2
のような値が返却された場合には、
2 番目と 4 番目と 6 番目の定期券区間にて、同じ全線定期券が利用できることを表します。

※2 定期クラスについて

定期クラスは、「ＪＲ二区間定期」や「だぶるーと」などを表現します。
定期クラスとして"general"(一般定期)が出力される場合は、
「val(_r[routeNo])_tsect_tkclslist_[tsectNo]_cnt」に、1 以上の値が出力されたときのみです。

2-8 再使用する入力パラメータ

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_reuse_jr2sectteiki	val_jr2sectteiki に入力した内容を出力
val_reuse_doubleroute	val_doubleroute に入力した内容を出力

これらのパラメータは、「3-1 定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）」で使用します。

2-9 乗り継ぎステータス

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_connectstate1	乗り継ぎステータス (0：未指定、 1：指定日に運行されている、 2：指定日に運行されていない、 3：路線名が正しくない) ※1
val_connectstate2	
val_connectstate3	
val_connectstate4	
val_connectstate5	
val_connectstate6	
val_connectstate7	
val_connectstate8	
val_connectstate9	

※1「val_connectstate5」～「val_ connectstate9」は、「val_addto」で経由駅を追加した場合に出力されます。

「1-7　使用路線の指定」の各入力パラメータに設定した各使用路線のステータスを出力します。

2-10 エラーコード

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_errcode	エラー情報（0：正常、1 以上：エラー）
val_teiki_errcode	定期券利用区間エラー情報（0：正常、1 以上：エラー）
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報（0：正常、-1 以下：エラー）

エラーコードの詳細は、「付録」をご参照ください。

拡張機能について

経路探索インターフェースでは、拡張入力パラメータを加えることで、拡張機能を利用することができます。拡張機能利用時には、通常の出力パラメータに加えて拡張出力パラメータが出力されます。

機能例）

・定期券を利用した運賃計算を行う

・CO2 の排出量を計算する

・路線の色を取得する

これらの機能は、拡張入力パラメータを設定しない限り有効にはなりません。
次ページ以降に各拡張機能の説明を掲載しておりますのでご覧ください。

3-1 定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）

定期券の利用を考慮した運賃計算の機能は、
「3-1 定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）」と、
「3-2 定期券利用時の運賃計算」の 2 種類存在しますが、
これから導入する方は、「3-1 定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）」をご利用ください。

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_tassignmode	定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果） (1：定期券利用時の登録名での運賃計算 2：駅名・路線名による運賃計算 3：方向性を持った経路文字列で計算、省略時は無効) (val_tassignmode を設定すると、 「3-2 定期券利用時の運賃計算」は無効)
val_tassign_reflect	探索結果への反映 (0：反映しない、1：反映する、省略時は 0) ※1
val_tassign_year	定期券情報を復元する年月日 (yyyy,mm,dd) （年・月・日のいずれかが省略された場合は出発日）
val_tassign_month	
val_tassign_day	
val_tassign_liketeikiuse	val_teiki_route 利用時の出力パラメータを模倣して出力 (0：出力しない、1：出力する、省略時は 0)
val_tassign_entryname	定期券利用区間登録名
val_tassign_stationnamelist	定期券利用区間駅名リスト
val_tassign_railnamelist	定期券利用区間路線名リスト
val_tassign_restoreroute	方向性を持った経路文字列
val_tassign_jr2sectteiki	ＪＲ二区間定期 (0：適時計算する、1：常に計算する、省略時は 0) ※2
val_tassign_doubleroute	2 ルート定期 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0) ※2
val_tassign_tkcls_[tsectNo]	定期券利用区間の定期クラス (2Section：二区間定期、passage：区間外定期、 general：一般定期、wRoute：だぶるーと、 t2Route：二区間定期券、s2Route：One だぶる♪、 weekday：平日限定定期、dottiimo：どっちーも、 zensen：全線定期、linefree：路線フリー定期、 yumeshima：全線定期券（夢洲版）) ※3

val_tassign_offpeak_teiki	オフピーク定期 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0)
val_tassign_offpeakteiki_timemode	オフピーク定期利用時の控除モード (0：オフピーク時間帯として計算、 1：ピーク時間帯として計算、省略時は 0)

定期券利用時の運賃計算について（詳細な計算結果）

定期券利用時の運賃計算（val_tassignmode）に「1」、「2」、「3」のいずれかを指定すると、
定期券の利用を考慮した運賃計算を行うことができます。

val_tassignmode の値によって、合わせて必要になるパラメータが変わります。
詳細は次の表をご覧ください。

val_tassignmode の値	計算時に必要な情報	計算時に必要なパラメータ名
1	定期券利用区間登録名	val_tassign_entryname
2	定期券利用区間駅名リスト	val_tassign_stationnamelist
	定期券利用区間路線名リスト	val_tassign_railnamelist
3	方向性を持った経路文字列	val_tassign_restoreroute

なお、val_tassignmode = 2 は、路線の方向性を指定できませんので、
val_tassignmode = 1、3 の利用をお勧め致します。

各入力パラメータの形式は以下のようになります。

val_tassign_entryname = 社員 No.01 定期（製品の管理者画面にて登録した定期名）
val_tassign_stationnamelist = 新宿_御茶ノ水_両国
val_tassign_railnamelist = ＪＲ中央線快速_ＪＲ総武線
val_tassign_restoreroute = 新宿_ＪＲ中央線快速_2_御茶ノ水_ＪＲ総武線_2_両国

※ 駅名リスト、路線名リスト、経路文字列は各CGIの出力パラメータから取得できます。

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_assigned_teiki_available	定期券情報の利用可能判定 0：利用不可（「駅すぱあと」に定期券として登録できない情報） 1：利用可（「駅すぱあと」に定期券として登録できる情報）

※ 定期券として利用できる経路は、「駅すぱあと」に登録できる経路のみです。
それ以外の場合は、定期券の経路として利用できないと判断され、
「val_assigned_teiki_available = 0」が出力されます。
この場合でも、定期券利用時の運賃計算が行われ、経路によっては控除された結果が出力されますが、実際の金額とは差異が発生することがあります。

（互換性を保つため、利用できない定期券が入力された場合でも、定期券利用時の運賃計算は行われます）

名称	説明
val_r[routeNo]_tassign_status val_tassign_status	定期適用情報 (0：成功 1：予期せぬエラー 2：定期経路が不適切 3：定期区間を含む経路が存在しない 4：定期を利用しても運賃が高くなってしまう、 または変わらない 99：val_teiki_errcode が 0(正常) 以外) ※ 0 の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_tassign_fare val_tassign_fare	定期券利用時の乗車券の合計運賃
val_r[routeNo]_tassign_fsect_cnt val_tassign_fsect_cnt	定期券利用時の乗車券区間数
val_r[routeNo]_tassign_fsect _fare_[fsectNo] val_tassign_fsect_fare_[fsectNo]	定期券利用時の各乗車券区間の運賃
val_r[routeNo]_tassign_fsect _istassign_[fsectNo] val_tassign_fsect_istassign_[fsectNo]	定期券利用時の各乗車券区間の定期適用の有無 (0：非定期券利用区間、1：定期券利用区間)
val_r[routeNo]_tassign_fsect _from_[fsectNo] val_tassign_fsect_from_[fsectNo]	定期券利用時の各乗車券区間の開始路線
val_r[routeNo]_tassign_fsect_to_[fsectNo] val_tassign_fsect_to_[fsectNo]	定期券利用時の各乗車券区間の終了路線
val_r[routeNo]_tassign_line_cnt val_tassign_line_cnt	定期券利用時の路線区間数
val_r[routeNo]_tassign_line_from_[lineNo] val_tassign_line_from_[lineNo]	定期券利用時の各路線区間の出発駅名（ロングネーム）
val_r[routeNo]_tassign_line_to_[lineNo] val_tassign_line_to_[lineNo]	定期券利用時の各路線区間の到着駅名（ロングネーム）
val_r[routeNo]_offpeakteiki_timemode val_offpeakteiki_timemode	オフピーク定期利用時の控除モード (0：オフピーク時間帯として計算した、 1：ピーク時間帯として計算した) ※割り当てがなければ出力しない

※1 探索結果への反映（val_tassign_reflect）について

入力パラメータ「val_tassign_reflect」を利用することで、定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）にて定期控除した結果を探索結果に反映させることができます。

この機能は、通常の探索結果にダイレクトに定期控除を反映するので、以下の特徴を持ちます。

- val_tassign～では取得できない、「定期控除時の路線名」や、「定期控除時の料金」などを取得できる。
- 定期控除後の探索結果にて表示順を制御できる。

本機能を利用することで、出力パラメータが変化します。詳細は以下をご参照ください。

val_tassign_reflect の値	路線・乗車券・料金の出力パラメータ（val_line～、val_fsect～、val_csect～）	定期券利用時の出力パラメータ（val_tassign～）
0、省略時　（無効）	定期控除する前のデータを出力	定期控除されたデータを出力
1　（有効）	定期控除を反映したデータを出力	val_tassign_status以外出力されない

本機能が有効で、val_tassign_status = 0（成功）だった場合の探索結果は、既に定期券利用区間が割り当てられた状態になるため、以下のパラメータは出力されません。

val_restoreroute、
val_teiki_station_cnt、　val_teiki_stationnamelist,
val_teiki_rail_cnt,　val_teiki_railnamelist

また、乗車券・料金の出力パラメータへの定期適用の判定用に、
val_tassign_reflect=1の時に限り、以下の出力パラメータが追加されます。

名称	説明
val_r[routeNo]_fsect_istassign_[fsectNo] val_fsect_istassign_[fsectNo]	各乗車券区間の定期適用の有無 （0：非定期券利用区間、1：定期券利用区間）
val_r[routeNo]_csect_istassign_[csectNo] val_csect_istassign_[csectNo]	各料金区間の定期適用の有無 （0：非定期券利用区間、1：定期券利用区間）

※ val_tassign_reflectが1以外、もしくはval_teiki_errcodeが0以外の場合は出力されません。

同じく val_tassign_reflect=1 の時、定期券利用区間では
「val_r[routeNo]_fsect_ticketsys_[fsectNo]_cnt = 0」が出力されます。

なお、本機能利用時には、定期控除前の探索結果を同時に取得できませんので、
「定期控除前後の探索結果や金額の比較」を行うことはできなくなります。

※2 定期券利用時の探索条件の設定について

「val_jr2sectteiki」や「val_doubleroute」を 1 に設定して取得した探索結果を用いて定期券利用時の運賃計算を行う場合には、その探索時のパラメータ値を
「val_tassign_jr2sectteiki」や「val_tassign_doubleroute」に設定する必要があります。

この探索時の設定は、出力パラメータ「val_reuse_jr2sectteiki」や「val_reuse_doubleroute」の値を引き継ぐことで、自動的に再現することが可能です。

※3 定期クラスを指定する経路を使用する場合について

※2 の設定をし、定期クラスを明示的に指定した探索結果を用いて定期券利用時の運賃計算を行う場合には、指定する区間の定期クラス「val_tassign_tkcls_[tsectNo]」を設定する必要があります。

具体的な利用方法については、以下の例をご覧ください。

＜利用例 1：「ＪＲ二区間定期」を利用した定期券情報を利用して計算する場合＞

説明	定期券利用区間探索時の出力パラメータ	計算時の入力パラメータ
定期券情報の指定方法	(なし)	val_tassignmode = 3
方向性を持った経路文字列	val_restoreroute = 小菅 _ 東武伊勢崎線 _2_ 北千住 _ JR常磐線快速 _2_ 上野 _ JR東北本線 (上野ー宇都宮)_1_ 浦和	val_tassign_restoreroute = 小菅 _ 東武伊勢崎線 _2_ 北千住 _ JR常磐線快速 _2_ 上野 _ JR東北本線 (上野ー宇都宮)_1_ 浦和
定期クラス	val_tsect_tkcls_2 = 2Section	val_tassign_tkcls_2 = 2Section
JR二区間定期	val_reuse_jr2sectteiki = 1	val_tassign_jr2sectteiki = 1

※ 日付が省略されているため、出発日で計算されます。

＜利用例 2：「だぶるーと」を利用した定期券情報を利用して計算する場合＞

説明	定期券利用区間探索時の出力パラメータ	計算時の入力パラメータ
定期券情報の指定方法	(なし)	val_tassignmode = 3
方向性を持った経路文字列	val_restoreroute = 所沢 _ 西武池袋線急行 _2_ 池袋 _ 東京メトロ副都心線 _1_ 東新宿	val_tassign_restoreroute = 所沢 _ 西武池袋線急行 _2_ 池袋 _ 東京メトロ副都心線 _1_ 東新宿
定期券情報を復元する日付 (年)	(なし)	val_tassign_year = 2010
定期券情報を復元する日付 (月)	(なし)	val_tassign_month = 9
定期券情報を復元する日付 (日)	(なし)	val_tassign_day = 01
定期クラス	val_tsect_tkcls_1 = wRoute	val_tsect_tkcls_1 = wRoute
2 ルート定期	val_reuse_doubleroute = 1	val_reuse_doubleroute = 1

＜定期券利用時の運賃計算のフォーマット互換について＞

定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）「val_tassignmode」では、計算結果を定期券利用時の運賃計算「val_teiki_route」利用時の出力パラメータ名でも出力することができます。

＜利用方法＞

入力パラメータに、

- ・val_tassignmode = 1 ～ 3
- ・val_tassign_liketeikiuse = 1
- ・その他 val_tassignmode を利用する為に必要なパラメータ

を設定する。（val_teiki_route を利用する必要はありません。）

＜利用結果＞

通常出力される他の出力パラメータに加えて、

- ・val_r[routeNo]_tassign ～で始まる出力パラメータ
- ・val_r[routeNo]_teikiuse ～で始まる出力パラメータ

の両方が出力される。

＜諸注意＞

・ 本機能で出力される「val_r[routeNo]_teikiuse ～で始まる出力パラメータ」は、新しい計算方法を利用している為、従来の計算方法ではカバーできなかった経路でも計算が行えます。（ その為、運賃の計算結果が異なる場合があります ）

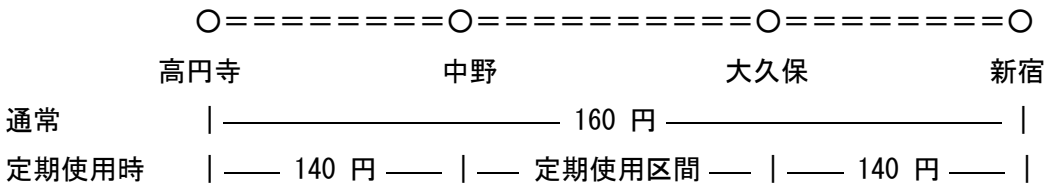
・ 従来の方式とは異なり、

- ・定期が利用出来る区間が存在しない経路
- ・定期を利用すると、運賃が高くなる経路・変わらない経路

の場合には、実際に当該経路を利用した際の運賃とは異なるため、「val_r[routeNo]_tassign_status」、「val_r[routeNo]_teikiuse_include」、「val_r[routeNo]_teikiuse_cnt」以外は出力しません。

＜定期を利用すると運賃が高くなる例＞

（ 中野～大久保 間で定期利用登録をしている場合 ）



3-2 定期券利用時の運賃計算

＜定期券利用時の運賃計算について＞

・「定期券利用時の運賃計算」は、今後も使用し続けることができます。このインターフェースのパラメータが使用できなくなることはありません。
しかしながら、定期券利用時の運賃計算機能へ機能追加がある場合には、詳細な計算結果を出力できることから「定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）」へのみ行わせていただきます。
そのため、同機能を使用する際には、詳細な計算結果を出力できる「定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）」のパラメータのご利用をお勧め致します。

・「定期券利用時の運賃計算」では、過去の機能との互換のため、2005 年 7 月版以前の「駅すぱあと」の計算方式に基づいた計算結果が出力されます。このため、現在の「駅すぱあと」の計算結果とは差異が発生する場合があります。（「定期券利用時の運賃計算（詳細な計算結果）」では、現在の計算方式に基づいた計算結果が出力されます）
また、会話型においてポップアップで表示させることができる「定期利用結果」画面には、現在の「駅すぱあと」の表示形式を採用しています。このため、出力パラメータの内容とは差異が発生する場合があります。

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_teiki_route	定期券利用時の運賃計算 (1：定期券利用時の登録名での運賃計算 2：駅名・路線名による運賃計算 3：方向性を持った経路文字列で計算、省略時は無効)
val_teiki_year	定期券情報を復元する年月日（yyyy,mm,dd） （年・月・日のいずれかが省略された場合は※1）
val_teiki_month	
val_teiki_day	
val_teikiuse_key	定期券利用区間登録名
val_teiki_station_cnt	定期券利用区間駅数
val_teiki_stationnamelist	定期券利用区間駅名リスト
val_teiki_rail_cnt	定期券利用区間路線数
val_teiki_railnamelist	定期券利用区間路線名リスト
val_teikirestore	方向性を持った経路文字列

＜定期券利用時の運賃計算について＞

定期券利用時の運賃計算（val_teiki_route）に「1」、「2」、「3」のいずれかを指定すると、
定期券の利用を考慮した運賃計算を行うことができます。

val_teiki_route = 1　の場合には、定期券利用区間登録名による計算を行うので、
・定期券利用区間登録名　　(val_teikiuse_key)
に定期券利用区間登録にて登録した登録名を指定してください。

val_teiki_route = 2　の場合には、駅名と路線名による計算を行うので、
・定期券利用区間駅数　　(val_teiki_station_cnt)
・定期券利用区間駅名リスト　　(val_teiki_stationnamelist)
・定期券利用区間路線数　　(val_teiki_rail_cnt)
・定期券利用区間路線名リスト　　(val_teiki_railnamelist)
を指定してください。

なお、val_teiki_toute = 2 の利用時には、路線の方向性を指定できませんので、
val_teiki_route = 1、3 の利用をお勧め致します。

val_teiki_route = 3　の場合には、経路文字列による計算を行うので、
・方向性を持った経路文字列　　(val_teikirestore)
を指定して下さい。

なお、駅名リスト、路線名リスト、経路文字列は各 CGI の出力パラメータから取得できます。

※1　定期券情報を復元する年月日の指定について

「定期券情報を復元する年月日」(val_teiki_year など）を利用していない場合には、
「探索日の年月日」(val_year など）を利用します。

「探索日の年月日」を指定していない場合は、その省略時の値が適応されます。

ただし、定期券情報が復元できなかった際に、土・日・祝日に停車駅が変わる鉄道路線による場合があるため、以下の条件をすべて満たしたときは平日の日付で復元します。

・「定期券情報を復元する年月日」を利用していない
・探索日に「駅すぱあと」が判断する土・日・祝日が設定されている
・すべての鉄道路線が探索日に運行している
・停車駅が変わる鉄道路線がある

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_assigned_teiki_available	定期券情報の利用可能判定 0：利用不可（「駅すぱあと」に定期券として登録できない情報 ） 1：利用可（「駅すぱあと」に定期券として登録できる情報 ）

※定期券として利用できる経路は、「駅すぱあと」に登録できる経路のみです。
それ以外の場合は、定期券の経路として利用できないと判断され、
「val_assigned_teiki_available ＝0」が出力されます。
この場合でも、定期券利用時の運賃計算が行われ、経路によっては控除された結果が出力されますが、実際の金額とは差異が発生することがあります。

（ 互換性を保つため、利用できない定期券が入力された場合でも、定期券利用時の運賃計算は行われます ）

名称	説明
val_r[routeNo]_teikiuse_include val_teikiuse_include	定期券利用計算の有無（0：無、1：有 ）
val_r[routeNo]_teikiuse_totalfare val_teikiuse_totalfare	定期券利用時の合計運賃
val_r[routeNo]_teikiuse_cnt val_teikiuse_cnt	定期券利用時の路線区間数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_teikiuse_from_[lineNo] val_teikiuse_from_[lineNo]	定期券利用時の各路線区間の出発駅名
val_r[routeNo]_teikiuse_to_[lineNo] val_teikiuse_to_[lineNo]	定期券利用時の各路線区間の到着駅名
val_r[routeNo]_teikiuse_fare_[lineNo] val_teikiuse_fare_[lineNo]	定期券利用時の各路線区間の運賃 (-1：定期券を利用できる区間、 0 以上：定期券を利用できない区間の運賃 ） (0 円の区間は、徒歩・無料のバス区間など ）

＜2つの定期券利用時の運賃計算の違いについて＞

定期券利用時の運賃計算の方式は、以下の 2 種類が用意されております。

・「val_tassignmode」（詳細な計算結果）
・「val_teiki_route」（従来）

「 詳細な計算結果 」では、従来のものと比べ、以下のメリットがあります。

＜「 詳細な計算結果 」のメリット＞

- 入力パラメータが少なくなった。
- 定期券利用時の運賃計算を往復でも取得できるようになった。
- 定期券利用時の運賃計算の１区間の定義が､運賃計算時の１区間の定義と同一になった。
- 定期券利用時の運賃計算のエラー出力パラメータが詳細になった。
- 探索日が「 土日祝 」の場合、従来は条件によっては翌平日に繰り越して探索・運賃計算する処理をしていたが、一括して翌平日へ繰り越す処理を行わないようにした。
  ⇒ 翌平日に繰り越して探索すると、定期券が復元できない場合があります。
  （ 翌平日には廃線となる路線が含まれる経路など。）

＜入力パラメータの比較＞

「val_tassignmode」と「val_teiki_route」の入力パラメータの比較は、
以下の表のようになります。

詳細な計算結果の入力パラメータ	従来の入力パラメータ	説明
val_tassignmode	val_teiki_route	定期券利用時の運賃計算
val_tassign_entryname	val_teikiuse_key	定期券利用区間登録名
必要なし	val_teiki_station_cnt	定期券利用区間駅数
val_tassign_stationnamelist	val_teiki_stationnamelist	定期券利用区間駅名リスト
必要なし	val_teiki_rail_cnt	定期券利用区間路線数
val_tassign_railnamelist	val_teiki_railnamelist	定期券利用区間路線名リスト
val_tassign_restoreroute	val_teikirestore	方向性を持った経路文字列

※ 新方式では、駅数や路線数を入力する必要がなくなりました。

＜出力パラメータの比較＞

従来の方式とは異なり、「val_tassignmode」(詳細な計算結果) の方式では出力パラメータが変更・追加されています。

※ 1区間の定義が従来の方式とは異なりますのでご注意ください。

＜ 1区間の定義の比較イメージ＞

(元住吉～田園調布 間と 五反田～高輪台 間で定期利用登録をしている場合)

```
                    |- 定期券区間 -|— 160 円 —|— 140 円 —|- 定期券区間 -|
                    O========O=======O=======O========O
          元住吉          田園調布        目黒          五反田          高輪台
                    東急目黒線      東急目黒線      JR 山手線      都営浅草線
従来                |— 区間１ —|———— 区間２ ————|— 区間３ —|
                     (定期区間)      (非定期区間)      (定期区間)
詳細な計算結果      |— 区間１ —|— 区間２ —|— 区間３ —|— 区間４ —|
                     (定期区間)  (非定期区間)  (非定期区間)  (定期区間)
```

他の大きな変更点は以下の 2 点になります。

- 各区間の出力パラメータ数が増えた。
- 各区間の運賃（定期券利用区間）を、従来の「-1 円」から「0 円」へ変更した。

具体的な例として、上画像の区間 1 ～区間 2 の出力パラメータを次に示します。

＜元住吉→高輪台での出力パラメータの一部＞

cgi_details2 での例

「val_tassignmode」（詳細な計算結果）

名称	値
val_r1_tassign_status	0
val_r1_tassign_fare	300
val_r1_tassign_fsect_cnt	4
val_r1_tassign_line_cnt	4
val_r1_tassign_fsect_fare_1	0
val_r1_tassign_fsect_istassign_1	1
val_r1_tassign_fsect_from_1	1
val_r1_tassign_fsect_to_1	1
val_r1_tassign_line_from_1	元住吉
val_r1_tassign_line_to_1	田園調布
val_r1_tassign_fsect_fare_2	160
val_r1_tassign_fsect_istassign_2	0
val_r1_tassign_fsect_from_2	2
val_r1_tassign_fsect_to_2	2
val_r1_tassign_line_from_2	田園調布
val_r1_tassign_line_to_2	目黒
(以下省略)	

「val_teiki_route」（従来）

名称	値
val_r1_teikiuse_include	1
val_r1_teikiuse_totalfare	300
val_r1_teikiuse_fsect_cnt	3
val_r1_teikiuse_cnt	3
val_r1_teikiuse_fare_1	-1
val_r1_teikiuse_from_1	元住吉
val_r1_teikiuse_to_1	田園調布
val_r1_teikiuse_fare_2	300
val_r1_teikiuse_from_2	田園調布
val_r1_teikiuse_to_2	五反田
(以下省略)	

3-3 回数券利用時の運賃計算

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_coupon_data	回数券情報

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_cassign_status val_cassign_status	回数券適用情報 (0：成功 1：予期せぬエラー 2：利用可能な区間が経路に存在しない 3：利用可能な列車が経路に存在しない 4：利用可能な日付でない 5：割引運賃が含まれる経路) ※ 0 の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_fsect_iscassign_[fsectNo] val_fsect_iscassign_[fsectNo]	各乗車券区間の回数券適用の有無 (0：非回数券利用区間、1：回数券利用区間)
val_r[routeNo]_csect_iscassign_[csectNo] val_csect_iscassign_[csectNo]	各料金区間の回数券適用の有無 (0：非回数券利用区間、1：回数券利用区間)

＜回数券利用時の運賃計算について＞

入力パラメータ「val_coupon_data」を利用すると、回数券の利用を考慮した運賃計算を行うことができます（ 計算結果は、通常の探索結果にダイレクトに反映されます ）。

※ 探索経路が回数券区間を超えている場合、正しい結果が計算できない場合があります。

※ 設定した回数券の有効区間が探索経路にある場合でも、回数券を乗車券のみ、及び料金のみに適用し、計算することはできません。

※ 1 つの経路で複数の回数券を同時に計算できません。

※ 割引運賃が計算された探索経路には対応しておりません。

※ 計算された結果は駅で精算する金額と異なる場合があります。

＜回数券情報の取得と利用手順について＞

回数券利用時の運賃計算には、利用する回数券の回数券情報が必要です。回数券情報は以下の手順で取得することができます。

1. その他のインターフェースの「11. 回数券名称リストを取得する」（jcgi_coupondata_name）を利用し、「駅すぱあと」に登録されている回数券の名称を取得します。

【出力例】

```
val_coupon_name_1= 新幹線回数券２０（ 指定席 ）
val_coupon_name_2= 新幹線回数券 （ 指定席 ）
val_coupon_name_3= 新幹線回数券 （ 自由席 ）

...
```

2. その他のインターフェースの「12. 回数券の名称から回数券情報を取得する」（jcgi_coupondata_section）を利用し、指定した回数券の各設定区間に対応する回数券情報を取得します。

【出力例】

```
val_couponsection_coupondata_1=2011.07.01_ 新幹線回数券 （ 指定席 ）
                                _ 東京都区内 _ 名古屋市内
val_couponsection_coupondata_2=2011.07.01_ 新幹線回数券 （ 指定席 ）
                                _ 東京都区内 _ 京都市内
val_couponsection_coupondata_3=2011.07.01_ 新幹線回数券 （ 指定席 ）
                                _ 東京都区内 _ 神戸市内

...
```

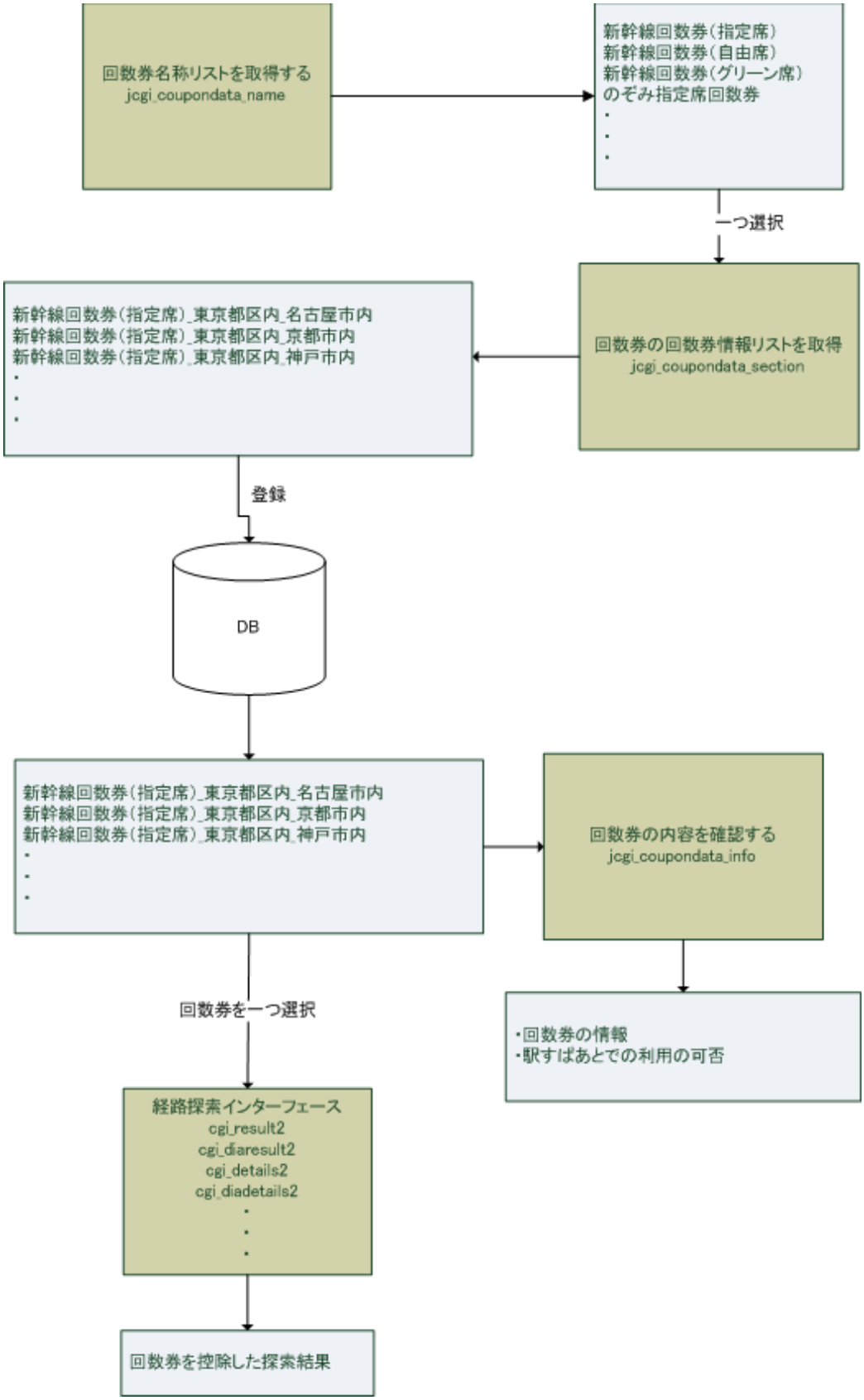
この手順によって取得した回数券情報を「val_coupon_data」に設定することで、回数券利用時の運賃計算が行われます。

なお、本機能をご利用の際は、あらかじめアプリケーションで利用する可能性のある回数券を絞り込んだ上で上記手順を繰り返し、取得した各回数券情報を DB 等に保存して利用することをおすすめいたします（ 次ページ【利用例】参照 ）。

また、回数券情報は「駅すぱあと」のバージョンアップ時に名称変更等によって利用できなくなることがあります。利用できるかについては、その他のインターフェースの「13. 回数券の内容を確認する」（jcgi_coupondata_info）でご確認ください。

※ 本項で扱っている出力例は、実際に取得できる値とは異なる場合があります。

【利用例】


回数券名称リストを取得する
jcgi_coupondata_name
新幹線回数券(指定席)
新幹線回数券(自由席)
新幹線回数券(グリーン席)
のぞみ指定席回数券
一つ選択
回数券の回数券情報リストを取得
jcgi_coupondata_section
新幹線回数券(指定席)_東京都区内_名古屋市内
新幹線回数券(指定席)_東京都区内_京都市内
新幹線回数券(指定席)_東京都区内_神戸市内
登録
DB
新幹線回数券(指定席)_東京都区内_名古屋市内
新幹線回数券(指定席)_東京都区内_京都市内
新幹線回数券(指定席)_東京都区内_神戸市内
回数券の内容を確認する
jcgi_coupondata_info
・回数券の情報
・駅すぱあとでの利用の可否
回数券を一つ選択
経路探索インターフェース
cgi_result2
cgi_diaresult2
cgi_details2
cgi_diadetails2
回数券を控除した探索結果

3-4 分割定期計算

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_result2, cgi_result2_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_separate_route	分割定期計算の有無 (y：計算する、n：計算しない、省略時は n)

「val_separate_route=y」を利用すると、以下のパラメータを出力します。
分割定期の金額が通常の定期の金額より高くなる場合には、金額パラメータには -1 が出力され、駅名のパラメータには NULL 値が出力されます。

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_stsect val_stsect	分割定期計算の有無 (0：無、1：有)
val_r[routeNo]_stsect_from_[stsectNo] val_stsect_from_[stsectNo]	分割定期区間の出発駅名
val_r[routeNo]_stsect_to_[stsectNo] val_stsect_to_[stsectNo]	分割定期区間の到着駅名
val_r[routeNo]_stsect_teiki[1,3,6,12]_from_[stsectNo] val_stsect_teiki[1,3,6,12]_from_[stsectNo]	1,3,6,12 ヵ月定期の分割定期区間の出発駅名
val_r[routeNo]_stsect_teiki[1,3,6,12]_to_[stsectNo] val_stsect_teiki[1,3,6,12]_to_[stsectNo]	1,3,6,12 ヵ月定期の分割定期区間の到着駅名
val_r[routeNo]_stsect_teiki[1,3,6,12]_[stsectNo] val_stsect_teiki[1,3,6,12]_[stsectNo]	1,3,6,12 ヵ月定期の分割定期区間の定期代
val_r[routeNo]_stsect_fare_from_[stsectNo] val_stsect_fare_from_[stsectNo]	分割定期区間の乗車券の出発駅名
val_r[routeNo]_stsect_fare_to_[stsectNo] val_stsect_fare_to_[stsectNo]	分割定期区間の乗車券の到着駅名
val_r[routeNo]_stsect_fare_[stsectNo] val_stsect_fare_[stsectNo]	分割定期区間の乗車券の運賃

3-5 二酸化炭素（CO2）排出量のパラメータ

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_co2mode	二酸化炭素（CO2）排出量 （0：出力しない、1：出力する、省略時は 0）

「val_co2mode=1」を利用すると、以下のパラメータを出力します。

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_co2_[routeNo] val_co2	各経路の二酸化炭素（CO2）排出量（単位：g）
val_co2car_[routeNo] val_co2car	自家用乗用車で同距離を走行した場合の 各経路の二酸化炭素（CO2）排出量（単位：g）
val_r[routeNo]_line_co2_[lineNo] val_line_co2_[lineNo]	各路線区間の二酸化炭素（CO2）排出量（単位：g）
val_r[routeNo]_line_co2car_[lineNo] val_line_co2car_[lineNo]	自家用乗用車で同距離を走行した場合の 各路線区間の二酸化炭素（CO2）排出量（単位：g）

＜CO2排出量の出力について＞

「駅すぱあと」の探索結果では、CO2 排出量が計算できない区間が存在します。そのような区間が含まれる経路だった場合、その経路の CO2 排出量の値には「-1」と返却され、計算できない区間の CO2 排出量の値には「0」で返却されます。

パラメータの構成で表すと以下のようになります。

パラメータ名と値の例	説明
val_co2_[lineNo] = -1	計算できない区間が含まれる経路の CO2 排出量
val_r[routeNo]_line_co2_[lineNo] = 0	計算できない区間の CO2 排出量

ただし、計算が出来る区間でも、計算結果として「0」が返却される場合もあります。

3-6 路線色

利用可能インターフェース	cgi_details2, jcgi_details2, cgi_diadetails2, jcgi_diadetails2

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_linecolor	路線色の出力 (0：出力しない、1：出力する、省略時は 0)

「val_linecolor=1」 を設定すると、以下のパラメータを出力します。

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_r[routeNo]_line_color_[lineNo]	路線色カンマ区切りの 0 ～ 255 の RGB 値 左から「 赤 , 緑 , 青 」の順
val_r[routeNo]_line_colorrgb_[lineNo]	路線色 16 進数 (00 ～ FF) の RGB 値 (主に HTML や CSS で利用するフォーマット)

3-7 ユーザーパラメータ

利用可能インターフェース	cgi_details2, cgi_diadetails2, cgi_result2, cgi_result2_h, cgi_diaresult2, cgi_diaresult2_h, cgi_diaassign, cgi_diaassign_h

＜入力パラメータ＞

名称	説明
ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは 「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、 出力パラメータとして返却する（ 複数指定可 ）

入力パラメータとして指定されたユーザーパラメータは、そのまま出力パラメータとして返却されます。

＜出力パラメータ＞

名称	説明
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ

＜ユーザーパラメータについて＞

CGI インターフェースでは、頭に ″val_″が付いていないパラメータを「 ユーザーパラメータ 」として認識し、出力パラメータに返却することができます。

ただし、CGI インターフェースでは通常、返却されるパラメータ名称はすべて小文字に変換されて返却されます。
大文字小文字を区別してパラメータ名称を返却したい場合には以下のパラメータを指定してください。

※ 値は変換されません。

＜入力パラメータ＞

名称	説明
val_upperparam	パラメータ名称の大文字小文字を区別する (y：区別する、n：区別しない、省略時は n)

その他のインターフェースについて

経路探索以外の機能を提供するインターフェースです。

例 ）

・駅名を取得する

・定期の払い戻し計算をする

・住所から駅一覧を取得する

経路探索インターフェースと併用することを想定して用意されておりますので、
経路探索インターフェースと重複するパラメータの詳細な説明は省略しております。

鉄道会社名・路線名取得

1. 会社名一覧を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_corp、jcgi_corp
☆	val_cgi_url	呼び出すCGIのURL(最大文字列 512Byte)(CGI のみ)
	val_area	取得したい会社の地域 (0：全国、1：北海道、2：東北、3：関東、4：中部、 5：近畿、6：中国、7：四国、8：九州、省略時は 0)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータをCookieに書き込む (y：書 き込む、n、書き込まない、省略時はn)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続ID
	ユーザーパラメータ	頭に"val_"が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する(複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_corp、jcgi_corp)

名称	説明
val_corp_cnt	会社名の数 1 以上の時に [corpNo] 付きパラメータを出力する
val_corp_name[corpNo]	会社名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

2. 指定した会社の路線名一覧を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_rail、jcgi_rail
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_corp	取得したい路線の会社
	val_area	取得したい路線の地域 (0：全国、1：北海道、2：東北、3：関東、4：中部 5：近畿、6：中国、7：四国、8：九州、省略時は 0)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書 き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に "val_" が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する（ 複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_rail、jcgi_rail)

名称	説明
val_rail_cnt	路線名の数 1 以上の時に [railNo] 付きパラメータを出力する
val_rail_name[railNo]	路線名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

路線の会社名について

「val_corp」に指定する路線の会社名は、「cgi_corp、jcgi_corp」から取得できます。

返却される POST データのサイズについて

「val_corp」に路線会社名以外の文字列を指定すると、存在するすべての路線名（ 数百 KB 程度 ）の POST データを返却します。

データを受け取るアプリケーションサーバ側の POST データサイズ上限を超えてしまうと、Internal Server Error などの発生原因となりますので、利用前にはアプリケーションサーバ側の設定もご確認ください。

3. 指定した路線の停車駅一覧を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_stop、jcgi_stop
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_rail	取得したい駅名の路線
	val_year	出発日の年 (yyyy)(省略時は本日日付)
	val_month	出発日の月 (mm)(省略時は本日日付)
	val_day	出発日の日 (dd)(省略時は本日日付)
	val_direction	路線方向 0:正方向　1:逆方向 (省略時：0)
	val_round_trip_stop	取得方法 0:片方向のみ 1:両方向とも取得する (省略時：0)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書 き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に "val_" が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する (複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞　(cgi_stop、jcgi_stop)

名称	説明
val_stn_cnt	駅名の数 1 以上の時に [stnNo] 付きパラメータを出力する
val_stn_name[stnNo]	駅名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

駅名・バス停名・ランドマーク名

4. 駅名を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_station、jcgi_station
☆	val_cgi_url	呼び出すCGIのURL(最大文字列512byte)(CGI のみ)
☆	val_in_name	取得したい駅名の一部
	val_area	取得したい駅名の地域 (0：全国、1：北海道、2：東北、3：関東、4：中部 5：近畿、6：中国、7：四国、8：九州、省略時は 0)
	val_sttypefilter	駅種別ごとのフィルタリング (指定方法は「駅種別ごとのフィルタリング機能について」参照) (省略時は「val_stationonly」の設定を適用) (「val_stationonly」指定時は無効)
	val_sttypefilter_default	「val_sttypefilter」の各桁を省略した場合の値 (0：駅候補に含めない、1：駅候補に含める、省略時は 1)
	val_stationonly	駅候補の詳細設定 (0：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バスを含む、 1：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バスを含まない 省略時は0) (「val_sttypefilter」を推奨)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する (複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_station、jcgi_station)

名称	説明
val_stn_cnt	駅名の数 (最大出力数 100 件) 1 以上の時に [stnNo] 付きパラメータを出力する
val_stn_name[stnNo]	駅名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

駅名取得時の注意

「val_in_name」など、駅名を取得する際に使用するパラメータには、以下のような文字列を指定します。使用する際には、これらの点についてご注意ください。

1. 駅名の入力文字
入力可能な文字は以下の通りです。

文字の種類	備考
全角かな／カナ、ローマ字、漢字	半角カナ利用不可

2. 「？」を利用した駅名取得
指定する文字として、「コウ」と与えると、「コウ」という読みで始まるすべての駅名リストを取得しますが、「？コウ」と与えると、「コウ」という読みを含んだすべての駅名リストを取得します。
（全角かな／カナ、ローマ字、漢字にて利用できます。また、「？」は全角、半角のどちらでも使用できます ）
＜例：コウエンジの場合＞

入力文字	取得される駅名の一部
コウエンジ	高円寺、高円寺駅入口、高円寺駅北口など
？コウエンジ	高円寺、新高円寺、東高円寺、柏の葉公園住宅前など

3. ローマ字による駅名取得時の注意
ローマ字を入力するときは、「ン」の後に母音や「ヤ」行が入る場合にご注意ください。
＜例：新横浜の場合＞

入力文字	読みの判断
ＳＨＩＮＹＯＫＯＨＡＭＡ	シニョコハマ
ＳＨＩＮＮＹＯＫＯＨＡＭＡ	シンヨコハマ（ ⇒新横浜が表示されます）

4. 駅名の修飾
駅名の中には、鉄道会社名などで修飾されている駅名もありますのでご注意ください。
＜例：難波駅の場合＞

駅名	読み	鉄道会社名
難波	なんば	南海電気鉄道
大阪難波	おおさかなんば	近畿日本鉄道 阪神電気鉄道
ＪＲ難波	じぇいあーるなんば	ＪＲ西日本

駅名取得時の駅種別について

「val_sttypefilter」と「val_stationonly」は排他関係にあるパラメータです。また、両方のパラメータを設定しない場合、路線バス停を含まない駅名を返します。「val_sttypefilter」を利用して、取得したい駅の種別を設定してください。

駅種別ごとのフィルタリング処理について

「val_sttypefilter」を利用することで、駅種別ごとのフィルタリング処理を一括して行うことが可能となります。
このパラメータを利用することで、今まで「val_stationonly」と「val_station_type」の 2 つのパラメータにてフィルタリング処理していたものを、今後はひとつのパラメータにて、より細分化された機能として扱うことができるようになります。

フィルターの指定方法は､ビット列の形式にて指定します。それぞれの駅の種別に応じて、「0：駅候補に含めない」､「1：駅候補に含める」を指定することができます。

各桁で対応する駅の種別							
桁	1000000 の位	100000 の位	10000 の位	1000 の位	100 の位	10 の位	1 の位
駅の種別	深夜急行バス	路線バス	港	連絡バス	高速バス	空港	鉄道駅
入力例	1	1	0	0	1	1	1

例）val_sttypefilter = 1100111

「val_sttypefilter」の利用時に、10 の位以上の桁が省略された場合は、省略された桁に「val_sttypefilter_default」に設定した値を指定したものとして扱われます。

ただし、「val_sttypefilter」を利用しなかった場合は、インターフェースによって適用される設定が異なりますので、各インターフェースの説明をご参照ください。

cgi_station、jcgi_station 以外のインターフェースでも同様です。

※ 従来の「駅の種別で駅候補を操作するパラメータ」との併用はできない為、以下の制限が付随します。
- 「val_stationonly」にパラメータが指定されていた場合､「val_sttypefilter」は無効となる。
- 「val_station_type」にパラメータが指定されていた場合、「val_sttypefilter」は無効となる。

5. バス停名を取得する

＜バス停名の取得について＞

このインターフェースは、過去の機能との互換のため提供しています。バス停名を取得する際は、「4. 駅名を取得する」において入力パラメータ「val_sttypefilter」を設定して取得する方法を推奨します。

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_busstop、jcgi_busstop
☆	val_cgi_url	呼び出すCGIのURL(最大文字列 512byte)(CGIのみ)
☆	val_in_name	取得したいバス停名の一部
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータをCookieに書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時はn)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続ID
	ユーザーパラメータ	頭に"val_"が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する（複数指定可）(CGIのみ)

＜出力パラメータ＞　(cgi_busstop、jcgi_busstop)

名称	説明
val_busstop_cnt	バス停名の数 1 以上の時に [busstopNo] 付きパラメータを出力する
val_busstop_name[busstopNo]	バス停名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

このインターフェースでは、路線バスおよびコミュニティバスのバス停名のみ取得できます。
その他のバス停名（高速バスなど）は取得できません。

6. ランドマーク名を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_landmark、jcgi_landmark
☆	val_cgi_url	呼び出すCGIのURL(最大文字列 512byte)(CGIのみ)
☆	val_in_name	取得したいランドマーク名の一部
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータをCookieに書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時はn)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続ID
	ユーザーパラメータ	頭に"val_"が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する(複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_landmark、jcgi_landmark)

名称	説明
val_landmark_cnt	ランドマーク名の数 1 以上の時に [landmarkNo] 付きパラメータを出力する
val_landmark_name[landmarkNo]	ランドマーク名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

7. 出発駅・到着駅を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_fromto_station、jcgi_fromto_station
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_in_fromname	取得したい出発駅駅名（ バス停名 ）の一部
☆	val_in_toname	取得したい目的駅駅名（ バス停名 ）の一部
	val_area	取得したい駅名の地域 (0：全国、1：北海道、2：東北、3：関東、4：中部、 5：近畿、 6：中国、7：四国、8：九州、省略時は 0)
	val_station_sort	駅名、路線バス停名順に並び替え (y：する、n：しない、省略時は n)
	val_sttypefilter	駅種別ごとのフィルタリング (指定方法は「駅種別ごとのフィルタリング機能について」参照) (省略時は「val_stationonly」、「val_station_type」の設定を適用) (「val_stationonly」または「val_station_type」指定時は無効)
	val_sttypefilter_default	「val_sttypefilter」の各桁を省略した場合の値 (0：駅候補に含めない、1：駅候補に含める、省略時は 1)
	val_stationonly	駅候補の詳細設定 (0：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バス を含む、 1：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バスを含まない 省略時は 0)(「val_sttypefilter」を推奨)
	val_station_type	路線バスの有無 (0：路線バスを含む、1：路線バス を含まない、 2：路線バスのみ、省略時は 0) (「val_sttypefilter」を推奨)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する (複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞　(cgi_fromto_station、jcgi_fromto_station)

名称	説明
val_from_stn_cnt	出発駅名数 1 以上の時に [from_stnNo] 付きパラメータを出力する
val_from_stn_name[from_stnNo]	出発駅名
val_to_stn_cnt	目的駅名数 1 以上の時に [to_stnNo] 付きパラメータを出力する
val_to_stn_name[to_stnNo]	目的駅名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

8. 緯度経度情報から駅リストを取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_station_from_geopoint
★	val_lat_d	緯度（「百分率」表記 ）※1
★	val_lon_d	経度（「百分率」表記 ）※1
★	val_lat	緯度（「度 . 分 . 秒 .1/1000 秒」表記 ）※1 （「val_lat_d」が指定されていた場合、無効 ）
★	val_lon	経度（「度 . 分 . 秒 .1/1000 秒」表記 ）※1 （「val_lon_d」が指定されていた場合、無効 ）
☆	val_radius	取得範囲の半径（単位：m）
	val_datum	測地系 (tokyo：日本測地系、wgs84：世界測地系、省略時は tokyo)
	val_sttypefilter	駅種別ごとのフィルタリング (指定方法は「駅種別ごとのフィルタリング機能について」参照) (省略時は「val_sttypefilter_default」の値を全ての桁に適用)
	val_sttypefilter_default	「val_sttypefilter」の各桁を省略した場合の値 (0：駅候補に含めない、1：駅候補に含める、省略時は 1)

＜出力パラメータ＞　(jcgi_station_from_geopoint)

名称	説明
val_datum	測地系（tokyo：日本測地系、wgs84：世界測地系 ）
val_stn_cnt	駅名の数（ 最大出力数 100 件 ） 1 以上の時に［stnNo］付きパラメータを出力する
val_stn_name[stnNo]	駅名
val_lat_d[stnNo]	駅の緯度（「百分率」表記 ）
val_lon_d[stnNo]	駅の経度（「百分率」表記 ）
val_lat[stnNo]	駅の緯度（「度 . 分 . 秒 .1/1000 秒」表記 ）
val_lon[stnNo]	駅の経度（「度 . 分 . 秒 .1/1000 秒」表記 ）
val_errcode	エラー情報（0：正常、1 以上：エラー ）

※1 緯度経度の表記について

緯度経度の表記には、次の 2 通りの方法を使用することができます。

・「百分率」表記
度数を 10 進数で表現します。
例 ） val_lat_d=35.710155　　val_lon_d=139.810718

・「度 . 分 . 秒 .1/1000 秒」表記
度数を度、分、秒に分けて表現します。（1/1000 秒未満の桁は切り捨て ）
例 ） val_lat=35.42.36.558　　val_lon=139.48.38.585

9. 選択した駅名を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_select_station
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)
☆	val_in_name	取得したい駅名（ バス停名 ）の一部
	val_area	取得したい駅名の地域 (0：全国、1：北海道、2：東北、3：関東、4：中部 5：近畿、 6：中国、7：四国、8：九州、省略時は 0)
	val_sttypefilter	駅種別ごとのフィルタリング (指定方法は「駅種別ごとのフィルタリング機能について」参照) (省略時は「val_stationonly」、「val_station_type」の設定を適用) (「val_stationonly」または「val_station_type」指定時は無効)
	val_sttypefilter_default	「val_sttypefilter」の各桁を省略した場合の値 (0：駅候補に含めない、1：駅候補に含める、省略時は 1)
	val_stationonly	駅候補の詳細設定 (0：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バス を含む、 1：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バスを含まない 省略時は 0)(「val_sttypefilter」を推奨)
	val_station_type	路線バスの有無 (0：路線バスを含む、1：路線 バスを含まない、 2：路線バスのみ、省略時は 0) (「val_sttypefilter」を推奨)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)
	val_connect_id	同時接続 ID
	val_cgi_back_url	戻る CGI の URL (省略時は呼び出す CGI の URL(val_cgi_url) と同じ) (最大文字列 512byte)
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する（ 複数指定可 ）

＜出力パラメータ＞　(cgi_select_station)

名称	説明
val_station_name	選択された駅名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ

10. 選択した駅名・ランドマーク名を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_select_station_landmark
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)
☆	val_in_name	取得したい駅名（ バス停名 ）・ランドマーク名の一部
	val_area	取得したい駅名の地域 (0：全国、1：北海道、2：東北、3：関東、4：中部 5：近畿、 6：中国、7：四国、8：九州、省略時は 0)
	val_sttypefilter	駅種別ごとのフィルタリング (指定方法は「駅種別ごとのフィルタリング機能について」参照) (省略時は「val_stationonly」、「val_station_type」の設定を適用) (「val_stationonly」または「val_station_type」指定時は無効)
	val_sttypefilter_default	「val_sttypefilter」の各桁を省略した場合の値 (0：駅候補に含めない、1：駅候補に含める、省略 時は 1)
	val_stationonly	駅候補の詳細設定 (0：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バスを含む、 1：駅候補に高速バス・連絡バス・深夜急行バスを含まない 省略時は 0)(「val_sttypefilter」を推奨)
	val_station_type	路線バスの有無 (0：路線バスを含む、1：路線 バスを含まない、 2：路線バスのみ、省略時は 0) (「val_sttypefilter」を推奨)
	val_landmark_type	ランドマーク名一覧区分 (0：非表示、1：表示、2：ランドマークだけ表示、省略時：1) (2：ランドマークだけの場合は駅・バス停一覧は非表示)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)
	val_connect_id	同時接続 ID
	val_cgi_back_url	戻る CGI の URL (省略時は呼び出す CGI の URL(val_cgi_url) と同じ) (最大文字列 512byte)
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する（ 複数指定可 ）

＜出力パラメータ＞ (cgi_select_station_landmark)

名称	説明
val_station_name	選択された駅名（ バス停名 ）・ランドマーク名
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ

回数券情報

「駅すぱあと」ではＪＲが発売する特別企画乗車券（回数券タイプ）を回数券データとして登録しています。特別企画乗車券（回数券タイプ）は、乗車券と料金をセットにしたきっぷが複数枚で１セットになっています。

11. 回数券名称リストを取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_coupondata_name

＜出力パラメータ＞　(jcgi_coupondata_name)

名称	説明
val_coupon_count	回数券の名称の数
val_coupon_name_[couponNo]	回数券の名称
val_errcode	エラー情報（0：正常、1 以上：エラー）

12. 回数券の名称から回数券情報を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_coupondata_section
☆	val_coupon_name	回数券の名称

＜出力パラメータ＞　(jcgi_coupondata_section)

名称	説明
val_couponsection_count	回数券の設定区間の数 1 以上の時に [couponsectNo]付きパラメータを出力する
val_couponsection_coupondata_[couponsectNo]	回数券の設定区間における回数券情報
val_couponsection_ticketcount_[couponsectNo]	回数券の設定区間における枚数
val_couponsection_validperiod_[couponsectNo]	回数券の設定区間における有効期間（単位：ヵ月）
val_couponsection_display_[couponsectNo]	回数券の設定区間（ 表示用に整形された文字列 ）
val_couponsection_amount_[couponsectNo]	回数券の設定区間における合計金額
val_errcode	エラー情報（0：正常、1 以上：エラー ）

※ 回数券の金額などの情報は購入日によって変動する可能性があります。
詳しくは各事業者にお問い合わせください。

13. 回数券の内容を確認する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_coupondata_info
☆	val_coupon_data	回数券情報

＜出力パラメータ＞

名称	説明
val_coupon_name	回数券の名称
val_couponsection_ticketcount	回数券の設定区間における枚数
val_couponsection_validperiod	回数券の設定区間における有効期間（ 単位：ヵ月 ）
val_couponsection_display	回数券の設定区間（ 表示用に整形された文字列 ）
val_couponsection_amount	回数券の設定区間における合計金額
val_errcode	エラー情報（0：正常、1 以上：エラー ）
val_coupon_errcode	回数券エラー情報 （0：正常、 1：指定した回数券情報は「駅すぱあと」では利用できません ）

※ 回数券の金額などの情報は購入日によって変動する可能性があります。
詳しくは各事業者にお問い合わせください。

定期払戻

14. 定期払戻情報を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_teiki_repay、jcgi_teiki_repay
☆	val_cgi_url	呼び出すCGIのURL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_from	出発駅の駅名
★	val_to	目的駅の駅名（経由駅を指定しない場合）
★	val_to01	経由駅・目的駅の駅名 （ 経由駅を指定する場合は「val_to」は使用せず、 経由する順に駅名を「val_to01」～「val_to09」に入力 ） ※「val_to」にも駅名を指定した場合、「val_to01」～「val_to09」は 考慮されず、「val_to」のみが適用されます 「val_to05」～「val_to09」に入力する場合は、 「val_addto」を「追加する(1)」に設定してください
	val_to02	
	val_to03	
	val_to04	
	val_to05	
	val_to06	
	val_to07	
	val_to08	
	val_to09	
	val_addto	経由駅の追加フラグ (0：追加しない、1：追加する、省略時は 0)
	val_noritugi01	使用路線（ロングネーム）の指定 1
	val_noritugi02	使用路線（ロングネーム）の指定 2
	val_noritugi03	使用路線（ロングネーム）の指定 3
	val_noritugi04	使用路線（ロングネーム）の指定 4
	val_noritugi05	使用路線（ロングネーム）の指定 5 ※1
	val_noritugi06	使用路線（ロングネーム）の指定 6 ※1
	val_noritugi07	使用路線（ロングネーム）の指定 7 ※1
	val_noritugi08	使用路線（ロングネーム）の指定 8 ※1
	val_noritugi09	使用路線（ロングネーム）の指定 9 ※1

※1「val_noritugi05」～「val_noritugi09」は、「val_addto」で経由駅を追加した場合に指定できます。

必須	名称	説明
	val_year	出発日の年（yyyy）（省略時は本日日付）
	val_month	出発日の月（mm）（省略時は本日日付）
	val_day	出発日の日（dd）（省略時は本日日付）
☆	val_teiki_routeno	定期のルートNo.
☆	val_teiki_repay_valid_date	定期有効開始年月日（YYYYMMDD）
☆	val_teiki_repay_valid_period	定期有効期間（1 or 3 or 6 or 12）
☆	val_teiki_repay_date	定期払戻年月日（YYYYMMDD）
	val_teiki_repay_purchase_date	定期購入年月日（YYYYMMDD） （省略時は定期有効開始年月日）
	val_teiki_repay_calc	定期払戻計算区分 （1：完全解約、2：区間解約、省略時は1）
	val_teiki_repay_type	定期払戻タイプ （0：一枚の場合、1：セクションごとの場合、省略時は0）
	val_feeling	探索条件 （ 省略時は 2221122）
	val_expressonly	探索条件：有料特急 （0：利用しない、1：利用する、省略時は 1）
	val_shinkansen	探索条件：新幹線 （0：利用しない、1：利用する、省略時は 1）

必須	名称	説明
	val_nozomi	探索条件：のぞみ(0：利用しない、1：利用する、省略時は 1)
	val_sleepingcar	探索条件：寝台列車 (y：優先して利用、n：利用しない、省略時は　n)
	val_highwaybus	探索条件：高速バス (1：優先して利用、2：普通に利用 3：極力利用しない、省略時は 2)
	val_airbus	探索条件：連絡バス (1：優先して利用、2：普通に利用 3：極力利用しない、省略時は 2)
	val_ship	探索条件：船 (1：優先して利用、2：普通に利用 3：極力利用しない、省略時は 2)
	val_bus_route_only	バスのみ探索 (y：利用する、n：利用しない、省略時は n)　※1
	val_icticket	IC カード運賃の計算 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0)
	val_teikifare_mode	定期種類 (1：通勤定期、2：高校生用通学定期、3：大学生用通学定期、 省略時は 1)
	val_jr2sectteiki	ＪＲ二区間定期 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0)
	val_doubleroute	2 ルート定期 (0：計算しない、1：計算する、省略時は 0)
	val_confload	環境設定ファイルから値の取得モード(省略時は全桁 0)
	val_sorttype	探索結果の経路の並び順指定 (1：探索順、2：運賃 順、3：所要時間順、4：定期順、 5：乗換回数順、6： CO2 排出量順、7：定期 1 ヵ月順、 8：定期 3 ヵ月順、9：定期 6 ヵ月順、省略時は 1)
	val_cstm[cstmNo]_r[routeNo]_type val_cstm[cstmNo]_all_type	カスタマイズタイプ　※2 (“TeikiClass” を指定)
	val_cstm[cstmNo]_tkcls_seq	定期券区間番号　※3
	val_cstm[cstmNo]_tkcls	定期クラス (2Section：二区間定期、passage：区間外定期、general：一般定期、wRoute：だぶるーと、 t2Route：二区間定期券、s2Route：One だぶる♪、 mottoku：モットクパス、icfare：IC 金額定期、 icteiki：IC 定期、dedfare：金額式定期、 weekday：平日限定定期、dottiimo：どっちーも、 zensen：全線定期、linefree：路線フリー定期、yumeshima：全線定期券（夢洲版）)

必須	名称	説明
	val_use_stopsect	不通路線を考慮した探索 (y：考慮する、n：考慮しない、省略時は n)
	val_stopsect01	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）1
	val_stopsect02	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）2
	val_stopsect03	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）3
	val_stopsect04	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）4
	val_stopsect05	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）5
	val_stopsect06	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）6
	val_stopsect07	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）7
	val_stopsect08	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）8
	val_stopsect09	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）9
	val_stopsect10	不通路線会社または路線名（ ロングネーム ）10
	val_max_result	探索結果の回答数の最大値 (1 ～ 20、省略時は 5)
	val_nametype	出力される経路文字列内の路線名の種別 (1：ショートネーム、2：ロングネーム、省略時は1)
	val_teiki_info_output	定期券情報の出力（1：出力する、2：12 ヵ月定期を含めて出力する 省略時は 0)
	val_teiki_repay_list	定期払戻金額リストの出力（1：出力する、省略時は 0)
	val_connect_id	同時接続 ID

※1　val_bus_route_only について

出発地～目的地に同じバス会社のバス停のみを指定した場合に適用されます。
利用するとした場合、同じバス会社のみを利用した探索結果となります。
利用しないとした場合や省略時には、バス以外を利用した経路を含む探索結果も表示されます。

※2　カスタマイズタイプについて

[cstmNo] はカスタマイズの番号を表します。番号は 1 から順番に通し番号で指定してください。なお、カスタマイズの内容は番号の大きいものが優先されます。

[routeNo] はカスタマイズする経路の番号を表します。目的の経路にのみカスタマイズを適用する場合、一度同じ条件で探索を行い、探索結果に含まれる目的の経路における経路番号をご確認の上、指定してください。

また、all の場合は全経路を対象としてカスタマイズを適用します。全ての探索結果について適用する場合はこちらをご利用ください。

※3　区間番号について

区間番号は、乗車券または定期券が存在する区間ごとに割り振られた番号です。"1_3" のようにアンダースコアで区切ることで複数の区間を指定できます。また、"all" を指定した場合、該当経路の全区間が設定されます。

＜出力パラメータ＞　(cgi_teiki_repay、jcgi_teiki_repay)

名称	説明
val_teiki_route	定期払戻の経路
val_teiki_repay_cnt	定期払戻のグループ数 1 以上の時に [repayNo] 付きパラメータを出力する
val_teiki_repay[repayNo]_status	定期払戻のグループの払戻状況 (0：正常、1：パラメータエラー、 2：指定された計算区間が有効ではない、 3：指定された有効期間が存在しない、 4：セクション情報が取得できない)
val_teiki_repay[repayNo]_fromsectionno	定期払戻のグループの開始セクションNo.
val_teiki_repay[repayNo]_tosectionno	定期払戻のグループの終了セクションNo.
val_teiki_repay[repayNo]_fromstationnam	定期払戻のグループの開始駅名
val_teiki_repay[repayNo]_tostationname	定期払戻のグループの終了駅名
val_teiki_repay[repayNo]_purchasemoney	定期払戻のグループの購入金額
val_teiki_repay[repayNo]_usedmoney	定期払戻のグループの使用済金額
val_teiki_repay[repayNo]_fee	定期払戻のグループの手数料
val_teiki_repay[repayNo]_repaymentmoney	定期払戻のグループの払戻金額
val_connectstate1	乗り継ぎステータス (0：未指定、 1：指定日に運行されている、 2：指定日に運行されていない、 3：路線名が正しくない) ※1
val_connectstate2	
val_connectstate3	
val_connectstate4	
val_connectstate5	
val_connectstate6	
val_connectstate7	
val_connectstate8	
val_connectstate9	
val_r[routeNo]_tsect_cnt	定期券情報　定期券区間の数 1 以上の時に以下のパラメータを出力する
val_r[routeNo]_tsect_from_[tsectNo]	定期券情報　定期券区間の開始路線
val_r[routeNo]_tsect_to_[tsectNo]	定期券情報　定期券区間の終了路線

※1「val_connectstate5」～「val_ connectstate9」は、「val_addto」で経由駅を追加した場合に出力されます。

名称	説明
val_r[routeNo]_tsect_teiki1_[tsectNo]	定期券情報 定期券区間の 1ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_teiki3_[tsectNo]	定期券情報 定期券区間の 3ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_teiki6_[tsectNo]	定期券情報 定期券区間の 6ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_teiki12_[tsectNo]	定期券情報 定期券区間の 12ヶ月の定期券の定期代
val_r[routeNo]_tsect_zensen_[tsectNo]	定期券情報 定期券区間の全線定期 (0：全線定期を共通使用可能な区間無し、 1以上：全線定期を共通使用可能な区間の内、最初の区間番号)
val_r[routeNo]_tsect_tkcls_[tsectNo]	定期券情報　定期券区間の選択された定期クラス (2Section：二区間定期、passage：区間外定期、general：一般定期、wRoute：だぶる一と、t2Route：二区間定期券、s2Route：One だぶる♪、mottoku：モットクパス、icfare：IC 金額定期、icteiki：IC 定期、dedfare：金額式定期、weekday：平日限定定期、dottiimo：どっちーも、zensen：全線定期、linefree：路線フリー定期、yumeshima：全線定期券（夢洲版）)
val_r[routeNo]_tsect_tkclslist_[tsectNo]	定期券情報　定期券区間で選択可能な定期クラスの種別数
val_r[routeNo]_tsect_tkclslist_[tsectNo]_tkcls_[tkclsNo]	定期券情報　定期券区間で選択可能な定期クラス (2Section：二区間定期、passage：区間外定期、general：一般定期、wRoute：だぶる一と、t2Route：二区間定期券、s2Route：One だぶる♪、mottoku：モットクパス、icfare：IC 金額定期、icteiki：IC 定期、dedfare：金額式定期、weekday：平日限定定期、dottiimo：どっちーも、zensen：全線定期、linefree：路線フリー定期、yumeshima：全線定期券（夢洲版）)
val_teiki_repay_list_count	定期払戻金額リスト数
val_teiki_repay_list_startdate_[listNo]	定期払戻金額リスト・払戻日(始め)
val_teiki_repay_list_enddate_[listNo]	定期払戻金額リスト・払戻日(終り)
val_teiki_repay_list_usedmoney_[listNo]	定期払戻金額リスト・使用済金額
val_teiki_repay_list_fee_[listNo]	定期払戻金額リスト・手数料
val_teiki_repay_list_repaymentmoney_[listNo]	定期払戻金額リスト・払戻金額
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1以下：エラー)
val_teiki_repay_errcode	定期払戻エラー情報 (0：正常、1以上：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

定期券の払戻計算について

※ 払い戻しには、その場で定期券を完全に解約する場合と、定期券区間を変更し新たな定期券を購入する区間変更があります。(無い事業者もあります)
区間変更の計算をする時には、「val_teiki_repay_calc = 2」と設定してください。

※ 定期運賃は、購入日の金額で計算されます。購入日は、運賃改定前に定期券を購入した場合に設定してください。

※ この CGI インターフェースは、「1-5 共通探索条件」において「ＪＲ二区間定期」もしくは「2 ルート定期」の入力パラメータに対し、「val_jr2sectteiki = 1」もしくは「val_doubleroute = 1」を設定して得られる経路の払戻計算には対応しておりません。

なお、定期券の払戻計算の詳細につきましては、インストール CD 内の「規格と制限事項」(Caution.pdf) に記載の「定期払い戻し計算について」をご覧ください。

定期券情報について

定期券情報の出力(val_teiki_info_output)を 1 にすると、定期払戻計算を行った経路の定期券に関する情報を出力します。

定期払戻金額リストについて

定期払戻金額リストの出力(val_teiki_repay_list)を 1 にすると、指定した払戻日から日付をカウントアップしながら、払戻金額が 0 円になるまで計算します。計算結果は、払戻日の始めと終わりまでの使用済金額と手数料、払戻金額をリストとして取得できます。

15. 会社ごとの手数料を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_teiki_repay_corpfee、 jcgi_teiki_repay_corpfee
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_corpname	定期払戻手数料対象の会社名
	val_teiki_repay_calc	定期払戻計算区分 (1：完全解約、2：区間解約、省略時は1)
	val_teiki_repay_date	定期払戻年月日（省略時は現在日付）
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に"val_"が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する（複数指定可）(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_teiki_repay_corpfee、jcgi_teiki_repay_corpfee)

名称	説明
val_corpfee	定期払戻手数料
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
val_teiki_repay_errcode	定期払戻エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

会社ごとの手数料について

cgi_teiki_repay_corpfee, jcgi_teiki_repay_corpfee では、各会社の一般的な定期払戻手数料のみ取得可能となっております。
路線ごとに手数料が異なるケースには対応しておりません。

住所関連情報

16. レベルごとの住所一覧を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_address、jcgi_address
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_address	住所名称 (住所レベルが 0 の場合は地方名：(例：関東))
☆	val_address_level	取得する住所レベル (0：都道府県名、1：市区郡名、2：大字・通称名、 3：字・丁目)
	val_address_sorttype	住所ソートタイプ (0：名称順、1：読み順、2：推奨順、省略時は 2)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に "val_" が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する (複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_address、jcgi_address)

名称	説明
val_address_cnt	アドレス一覧の個数 1 以上の時に [addressNo] 付きパラメータを出力する
val_address_[addressNo]	住所名称
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_address_err	住所からの駅選択関連エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

住所名の取得について

「cgi_address」,「jcgi_address」を利用すると住所一覧を取得することができます。
なお、複数回利用することで住所名を取得できます。以下に具体的な手順を記します。

1. val_address_level=0 を指定した上で、val_address に「全国、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州」のいずれかの「地方名」を指定するリストを作成します。

   実行例　val_addres_level=0&val_address= 関東
   実行結果　val_address_1= 茨城県 &val_address_2= 栃木県 &...

2. 1. の実行結果から、都道府県名リストが取得できますので、そのリストを基に、val_address に「都道府県名」を指定するリストを作成します。

   実行例　val_addres_level=1&val_address= 東京都
   実行結果　val_address_1= 千代田区 &val_address_2= 中央区 &...

3. 2. の実行結果から、市区郡名リストが取得できますので、そのリストを基に、val_address を指定するリストを作成します。
   val_address には「都道府県名」+「市区郡名」の文字列を指定します。

   実行例　val_addres_level=2&val_address= 東京都杉並区
   実行結果　val_address_1= 阿佐谷北 &val_address_2= 阿佐谷南 &...

4. 3. の実行結果から、大字・通称名リストが取得できますので、そのリストを基に、val_address を指定するリストを作成します。
   val_address には「都道府県名」+「市区郡名」+「大字・通称名」の文字列を指定します。

   実行例　val_addres_level=3&val_address= 東京都杉並区高円寺北
   実行結果　val_address_1= １&val_address_2= ２&...

5. 4. の実行結果から、「字・丁目」が取得できます。それらを連結し、
   「都道府県名」+「市区郡名」+「大字・通称名」+「字・丁目」
   とすれば、住所名が取得できます。

   4. の実行結果から、空のパラメータが取得できた場合には、
   「都道府県名」+「市区郡名」+「大字・通称名」
   が住所名となります。

なお、取得した住所名を、後述の「cgi_stationfromaddress、jcgi_stationfromaddress」に利用することで最寄りの駅名が取得できます。

本インターフェースを利用した住所の取得機能を、「駅すぱあと」全機能版の「住所から駅選択」画面にて実装しておりますので、よろしければご参考ください。

17. 郵便番号から住所を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_addressfromzipcode、jcgi_addressfromzipcode
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_zipcodeupper3	郵便番号（上 3 桁）
☆	val_zipcodelower4	郵便番号（下 4 桁）
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に"val_"が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する （複数指定可）(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞　(cgi_addressfromzipcode、jcgi_addressfromzipcode)

名称	説明
val_address_cnt	アドレス一覧の個数 1 以上の時に [addressNo] 付きパラメータを出力する
val_address_[addressNo]	住所名称
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_address_err	住所からの駅選択関連エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

18. 住所から郵便番号を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_zipcodefromaddress、jcgi_zipcodefromaddress
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_address	住所名称（例：東京都千代田区飯田橋１）
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n) (CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する（複数指定可）(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞　(cgi_zipcodefromaddress、jcgi_zipcodefromaddress)

名称	説明
val_zipcodeupper3	郵便番号（上３桁）
val_zipcodelower4	郵便番号（下４桁）
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_address_err	住所からの駅選択関連エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

19. 住所から駅一覧を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_stationfromaddress、jcgi_stationfromaddress
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_address	住所名称（例：東京都千代田区飯田橋１）
☆	val_areasize	住所からの距離（単位：1km)
	val_busselect	リストバス選択タイプ (0：バス停は対象外、1：バス停のみ対象、2：駅とバス停を対象、省略時は 2)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する（複数指定可）(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞　(cgi_stationfromaddress、jcgi_stationfromaddress)

名称	説明
val_station_cnt	駅一覧の個数 1 以上の時に [stationNo] 付きパラメータを出力する
val_station_[stationNo]	駅名
val_station_distance_[stationNo]	駅からの距離（単位：1km)
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー）
val_address_err	住所からの駅選択関連エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー）
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー）
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

その他のインターフェース

20.「駅すぱあと」のデータのバージョン情報を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_version、jcgi_version
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)(CGI のみ)
	ユーザーパラメータ	頭に "val_" が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する (複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_version、jcgi_version)

名称	説明
val_version	バージョン (知識データベースの日付：YYYY/MM/DD)
val_jrtrain_timetable_version	バージョン (ＪＲ時刻表の日付：YYYY/MM/DD)
val_etctrain_timetable_version	バージョン (私鉄時刻表の日付：YYYY/MM/DD)
val_air_timetable_version	バージョン (航空時刻表の日付：YYYY/MM/DD ～ YYYY/MM/DD)
val_cgi_version	バージョン (初版は 2.0.0)
val_connection	同時接続数 (0：無制限、10：10 ユーザー、25：25 ユーザー、 50：50 ユーザー、100：100 ユーザー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

21. 同時接続 ID を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_connect_id、jcgi_connect_id
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「ユーザーパラメータ」扱いとなり、出力パラメータとして返却する(複数指定可)(CGI のみ)

＜出力パラメータ＞ (cgi_connect_id、jcgi_connect_id)

名称	説明
val_connect_id	同時接続 ID
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ (CGI のみ)

22. カレンダーを表示する（日付を取得する）

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_calendar
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)
	val_title	タイトル（ 省略時はカレンダー ）
	val_filename	ユーザー指定の休日情報ファイル名
	val_nodisptoday	本日ボタンの表示の有無 (1：表示しない、0：表示する、省略時は 0)
	val_outpara_cookie	出力されたパラメータを Cookie に書き込む (y：書き込む、n：書き込まない、省略時は n)
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返却する (複数指定可)

＜出力パラメータ＞ (cgi_calendar)

名称	説明
val_year	年
val_month	月
val_day	日
val_date	年月日
val_week	曜日 (0：日、1：月、2：火、3：水、4：木、5：金、6：土)
val_holiday	休日情報 (1：祝日またはユーザー指定休日、0：1 に該当しない日)
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ

23.「駅すぱあと」から日付を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_expdate
	val_date	日付（YYYYMMDD 例：20051006）

＜出力パラメータ＞（jcgi_expdate）

名称	説明
val_date	日付（YYYYMMDD）
val_week	曜日 （0：日、1：月、2：火、3：水、4：木、5：金、6：土 ）
val_isholiday	祝日の有無 （0：なし、1：あり ）

24. 駅名・路線名・会社名をリニューアルする

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	cgi_name_renewal、jcgi_name_renewal
☆	val_cgi_url	呼び出す CGI の URL(最大文字列 512byte)(CGI のみ)
☆	val_nameformat	リニューアル処理する情報の種類 (1：駅名、2：路線名、3：会社名、4：方向性を持った経路文字列、5：定期券利用区間)
★	val_oldnamelist	リニューアル処理する情報 (「val_nameformat」が 1 ～ 4 のとき、必須) (最大文字列 1000byte)
★	val_oldteikistationlist	定期券利用区間駅名リスト (「val_nameformat」が 5 のとき、必須) (最大文字列 1000byte)
★	val_oldteikiraillist	定期券利用区間路線名リスト (「val_nameformat」が 5 のとき、必須) (最大文字列 1000byte)
	val_connect_id	同時接続 ID
	ユーザーパラメータ	頭に ″val_″ が付いていないパラメータは「 ユーザーパラメータ 」扱いとなり、出力パラメータとして返 却する (複数指定可)(CGI のみ)

- 「cgi_name_renewal」と「jcgi_name_renewal」は、入力パラメータに文字列を渡すと、その文字列に含まれる駅名、路線名、会社名に変更があるかどうかを確認できます。もし変更がある場合は、変更後の名称の取得 (リニューアル処理) もできます。
- 駅名、路線名、会社名のいずれかに対して名称変更の有無を確認するには、「val_nameformat」を 1 ～ 3 から選択し、「val_oldnamelist」に確認したい駅名、路線名、または会社名を指定します。
- 一経路 (定期券利用区間など) に対して確認するには、「val_nameformat」を 5 にして、「val_oldteikistationlist」と「val_oldteikiraillist」の組み合わせを利用するか、「val_nameformat」を 4 にして、「val_oldnamelist」に方向性を持った経路文字列を指定します。
- 「val_nameformat」が 1 ～ 3 の場合、それぞれ複数の駅名、路線名、会社名を「_」(アンダーバー) でつないで「val_oldnamelist」に指定すると、一度に複数の名称に対する確認が可能です。
- 「val_oldteikistationlist」と「val_oldteikiraillist」の使い方は、定期券利用区間の指定に用いる「val_teiki_stationnamelist」および「val_teiki_railnamelist」と同じです。
- 駅名、路線名、会社名はすべてロングネームで指定してください。

＜出力パラメータ＞（cgi_name_renewal、jcgi_name_renewal）

名称	説明
val_renewalstatus	リニューアル情報 (-1：パラメータエラー、0：リニューアルなし、 1：リニューアルあり、2：存在しない名称がある)
val_renewalnamelist	リニューアル処理後の情報
val_renewalteikistationlist	リニューアル処理後の定期券利用区間駅名リスト
val_renewalteikiraillist	リニューアル処理後の定期券利用区間路線名リスト
val_errcode	エラー情報 (0：正常、1 以上：エラー)
val_connect_errcode	同時接続 ID 取得エラー情報 (0：正常、-1 以下：エラー)
ユーザーパラメータ	入力時に渡した任意のパラメータ（CGI のみ）

・val_renewalnamelist は、val_nameformat が 1 ～ 4 の場合に出力され、val_renewalteikistationlistおよびval_renewalteikiraillist は、val_nameformatが5の場合に出力されます。

・val_renewalnamelist、val_renewalteikistationlist、val_renewalteikiraillist は、val_renewalstatus が -1 または 2 の場合は NULL 文字、0 の場合は入力パラメータの内容、1 の場合は、入力パラメータの内容に名称変更を適用したものが出力されます。

※ この CGI インターフェースは、1 年以上前に発生した名称変更には対応していません。
また、1年に 2 回以上名称変更が発生した場合は、直近の名称変更に対してのみリニューアル処理を利用できます。

＜利用例　1：駅名の名称変更の有無を確認する＞

入力パラメータの一部：
val_nameformat=1、val_oldnamelist= 越前花堂 _ 福井新 _ 東京

出力パラメータの一部：
val_renewalstatus=1、
val_renewalnamelist= 越前花堂 _ 赤十字前 _ 東京

＜利用例　2：定期券利用区間の名称変更の有無を確認する＞

入力パラメータの一部：
val_nameformat=5、val_oldteikistationlist= 武生新 _ 上鯖江、
val_oldteikiraillist= 福井鉄道福武線

出力パラメータの一部：
val_renewalstatus=1、val_renewalteikistationlist= 越前武生 _ サンドーム西、
val_renewalteikiraillist= 福井鉄道福武線

※ 上記の結果は、2011 年 1 月版現在のものです。

管理者専用

25. ランドマークを登録する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_adm_import_landmark
☆	val_password	管理者パスワード
☆	val_landmark	ランドマークの名称 （ 全角文字・半角英数字使用可 ）(半角 45 文字相当まで)
☆	val_landmark_yomi	ランドマークのヨミ （ 全角カタカナのみ ）（ 全角 22 文字まで ）
☆	val_landmark_category	ランドマークの属するカテゴリー名 （ 全角文字・半角英数字使用可 ）(半角 40 文字相当まで)
☆	val_moyori	ランドマークの最寄り駅名
☆	val_moyori_way	最寄り駅 － ランドマーク間の交通手段 （ 全角文字・半角英数字使用可 ）(半角 20 文字相当まで)
☆	val_moyori_time	最寄り駅 － ランドマーク間の所要時間 （ 単位 ： 分 ）（1 分～ 999 分まで ）
	val_moyori_distance	最寄り駅 － ランドマーク間の距離 （ 単位 ：100m）（1 ～ 999 まで ）
	val_moyori_exit	最寄り駅のランドマーク側の出入り口 （ 全角文字・半角英数字使用可 ）(半角 20 文字相当まで)
	val_moyori_fare	最寄り駅 － ランドマーク間の運賃 （ 単位 ： 円 ）（1 円～ 999999 円まで ）
	val_moyori_teiki1	最寄り駅 － ランドマーク間の 1 ヵ月定期 （ 単位 ： 円 ）（1 円～ 999999 円まで ）
	val_moyori_teiki3	最寄り駅 － ランドマーク間の 3 ヵ月定期 （ 単位 ： 円 ）（1 円～ 999999 円まで ）
	val_moyori_teiki6	最寄り駅 － ランドマーク間の 6 ヵ月定期 （ 単位 ： 円 ）（1 円～ 999999 円まで ）

「駅すぱあと」へランドマークデータをインポートするためのインターフェースです。

- 基本的な仕様は「駅すぱあと」製品の「管理者用サイト＞ランドマーク登録」に準拠します。
- 新しいランドマークの名称で登録すると「新規登録」、既に登録されているランドマークの名称で登録すると「追加登録」になります。
- この JCGI を利用する場合には、「val_password」（管理者パスワード）が必須です。
  「製品の管理者用サイト ＞ 環境設定 ＞ ホスト設定 ＞ パスワード」にて設定可能です。
  必ずパスワードを設定の上ご利用下さい。未設定の場合には利用できません。

＜新規登録＞

・ 新たにランドマークを登録する場合に利用します。
例）東京駅から徒歩 5 分のランドマークを登録する。 ……(A)
val_htmb=jcgi_adm_import_landmark&val_password=xxxxxxxx&val_landmark= ○○支店
&val_landmark_yomi= ○○シテン &val_landmark_category= 支店カテゴリー
&val_moyori=東京 &val_moyori_way= 徒歩 &val_moyori_time=5

＜追加登録＞

・ 登録されたランドマークに、最寄り駅を追加する場合に利用します。
・ 追加登録の場合には、既に登録されているランドマークの名称、ヨミ、カテゴリー名を正しく入力パラメータに指定する必要があります。誤っている場合には追加登録出来ません。
例） (A) に、最寄り駅としてさらに有楽町駅（タクシー 10 分）を追加登録する。
val_htmb=jcgi_adm_import_landmark&val_password=xxxxxxxx
&val_landmark= ○○支店&val_landmark_yomi= ○○シテン
&val_landmark_category= 支店カテゴリー &val_moyori=有楽町
&val_moyori_way= タクシー &val_moyori_time=10
・ 入力パラメータのイメージ
追加登録時には、val_landmark_ で始まるパラメータを新規登録時と同じ値にします。

パラメータ	新規登録時	最寄り駅追加登録時	
val_landmark	○○支店	○○支店	○○支店
val_landmark_yomi	○○シテン	○○シテン	○○シテン
val_landmark_category	支店カテゴリー	支店カテゴリー	支店カテゴリー
val_moyori	東京	有楽町	二重橋前
val_moyori_way	徒歩	タクシー	自転車
val_moyori_time	5	10	7
val_moyori_distance	5	15	10
val_moyori_……	…	…	…

＜制限＞

・ ランドマーク名はユニークである必要があります。
「駅すぱあと」本体に登録されているランドマーク（東京タワーなど）や、 別カテゴリーに既に登録されているランドマークを重複して登録することはできません。

・ 半角「＜，＞，＆，￥，″，’，#」は使用しないでください。
全角「～」はLinux サーバー上では使用しないでください。
また、入力パラメータとして使用不可能な文字列を含んでいても登録できてしまう場合がありますが、それらはランドマークとして呼び出せない恐れがあります。

・ 登録件数に上限があります。以下の件数を超えるとエラーになり登録できません。

項目	上限
カテゴリー	500 件まで
ランドマーク	2000 件まで
1 件のランドマークの最寄り駅	10 駅まで

＜出力パラメータ＞（jcgi_adm_import_landmark）

名称	説明
val_landmark_status	ランドマークエラー情報 （0：正常、1 以上 ： エラー ）

＜ランドマークステータスコード（val_landmark_status）一覧表＞

ステータスコード	説明
0	正常終了
1	必須パラメータが足りません
2	必須パラメータの値が正しくありません
3	追加パラメータの値が正しくありません
4	既に「駅すぱあと」ランドマーク、またはカテゴリーとして登録されています
5	既に別カテゴリーのランドマークとして登録されています
6	登録可能なカテゴリー数を超えています
7	登録可能なランドマーク数を超えています
8	登録可能なランドマークの最寄り駅数を超えています
9	ファイルの書き込みに失敗しました
10	データロード中にエラーが発生しました
11	パスワードが正しくないか、設定されていません

※ jcgi_adm_import_landmark は、「管理者のみ利用できる環境」で運用してください。
当 JCGI はサーバー内の user.lnd ファイルを書き換えるインターフェースです。
複数人で同時に利用できる環境や、誰でも利用できる環境で運用した場合、
管理者の意図しない書き換えが行われる可能性があります。

26. ランドマークを削除する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_adm_delete_landmark
☆	val_password	管理者パスワード
	val_category	削除するカテゴリー名
	val_landmark	削除するランドマーク名

「駅すぱあと」のランドマークデータを削除するためのインターフェースです。

- 基本的な仕様は「駅すぱあと」製品の「管理者用サイト ＞ ランドマーク登録」に準拠します。
- 「val_category」にカテゴリー名を指定すると「カテゴリー削除」になります。
  「カテゴリー削除」を行うと、そのカテゴリーに属しているランドマークも全て削除されます。指定したカテゴリーが存在しない場合には、削除されません。
- 「val_landmark」にランドマーク名を指定すると「ランドマーク削除」になります。
  「ランドマーク削除」を行うと、そのランドマークと最寄り駅情報が削除されます。
  指定したランドマークが存在しない場合には、削除されません。
- 「val_category」と「val_landmark」が両方指定されている場合には、実行しません。
- この JCGI を利用する場合には、「val_password」（管理者パスワード）が必須です。
  製品の「管理者用サイト ＞ 環境設定 ＞ ホスト設定 ＞ パスワード」にて設定可能です。
  必ずパスワードを設定の上ご利用下さい。未設定の場合には利用できません。

例） ランドマーク：「◯◯支店」を削除する。
val_htmb=jcgi_adm_delete_landmark&val_password=xxxxxxxx&val_landmark= ◯◯支店

例） カテゴリー：「支店カテゴリー」を削除する。

val_htmb=jcgi_adm_delete_landmark&val_password=xxxxxxxx&val_category= 支店カテゴリー

＜出力パラメータ＞（jcgi_adm_delete_landmark）

名称	説明
val_landmark_status	ランドマークエラー情報 （0：正常、1 以上 ： エラー ）

＜ランドマークステータスコード（val_landmark_status）一覧表＞

ステータスコード	説明
0	正常終了
1	カテゴリー名かランドマーク名を指定してください
2	カテゴリー名とランドマーク名が両方指定されています
3	指定されたカテゴリーが存在しません
4	指定されたランドマークが存在しません
9	ファイルの書き込みに失敗しました
10	データロード中にエラーが発生しました
11	パスワードが正しくないか、設定されていません

※ jcgi_adm_import_landmark は、「管理者のみ利用できる環境」で運用してください。
当 JCGI はサーバー内の user.lnd ファイルを書き換えるインターフェースです。
複数人で同時に利用できる環境や、誰でも利用できる環境で運用した場合、
管理者の意図しない書き換えが行われる可能性があります。

東日本大震災関連

27.　災害・節電の影響に関するダイヤの情報を取得する

＜入力パラメータ＞

必須	名称	説明
☆	val_htmb	jcgi_disasterdia_info
☆	val_disasterdia_serial	災害ダイヤシリアル

＜出力パラメータ＞（jcgi_disasterdia_info）

名称	説明
val_errcode	エラー情報（0：正常、1 以上：エラー）
val_disasterdia_errcode	災害ダイヤエラー情報 （0：正常 1：災害ダイヤシリアルが別のバージョン 駅すぱあと」で生成されています） 0 の時に以下のパラメータが取得可能
val_disasterdia_comment	ダイヤ探索結果の路線区間における、東日本大震災に伴う災害・節電の影響に関するダイヤの情報です。 文字列が返却されます。

この機能では、「駅すぱあと」から東日本大震災に伴う災害・節電の影響に関するダイヤの情報を取得する事ができます。経路探索インターフェースの結果から「災害ダイヤシリアル」を取得してご利用ください。

「災害ダイヤシリアル」は同じバージョンの駅すぱあとから取得したものでなければなりません。

なお、この機能はダイヤ探索結果の路線区間の交通種類が「列車」の場合にのみ利用できます。
また、この機能は一時的なものであり、将来的に削除する予定です。
ご了承ください。

付録

エラーコード一覧

エラーコード（val_errcode）

エラーコード	説明
0	正常
1	パラメータエラー
2	ハンドル取得エラー
3	出発地が存在しない
4	目的地が存在しない
5	出発地と目的地が同じ駅名
6	途中駅にランドマーク
7	途中駅にバス停
8	経路なし
9	定期券登録情報取得エラー （「3-2 定期券利用時の運賃計算」を会話型で利用した場合のエラー時のみ、9を返します。その他の場合は、val_errcodeには0を返し、val_teiki_errcodeに定期券のエラーを返します。）

定期券利用区間エラーコード（val_teiki_errcode）

エラーコード	説明
0	正常
1	パラメータエラー
2	定期券情報復元エラー(2)
3	駅名エラー
4	駅名数エラー
5	路線名エラー
6	路線名数エラー
7	定期券情報復元エラー(7)

同時接続 ID エラーコード（val_connect_errcode）

エラーコード	説明
0	正常
-1	コネクトエラー
-2	ファイルエラー

定期払戻エラーコード（val_teiki_repay_errcode）

エラーコード	説明
0	正常
1	パラメータエラー
2	指定したルート No. が存在しない
3	指定したルートが払戻可能ではない
4	セクションごとのセパレートに失敗
5	払戻の計算に失敗

住所関連情報エラーコード（val_address_err）

エラーコード	説明
0	正常
1	異常終了
2	メモリー不足
3	都道府県レベルの不一致
4	市区郡（町村）レベルの不一致
5	町名、大字レベルの不一致
6	丁目、字レベルの不一致
7	対象範囲内に駅が 1つもない
8	対象となる住所が複数存在する （都道府県、政令指定都市の市および郡省略時）

本プログラム及びマニュアルは無断で複製することを禁止します。
仕様は予告なしに変更する場合があります。

© Val Laboratory Corporation

※本マニュアルに記載されているプログラム名、CPU 名、製品名は、
一般に各メーカーの登録商標及び商標です。